

# 宮整広報

## CONTENTS

副会長挨拶	1
平成23年度 第2回通常総会	2
平成24年度 第1回通常総会	4
平成24年7月 臨時総会開催報告	6
宮城県柔道整復師任意組合 通常総会報告	7
SVM代表者 地域代表者 介護事業企画室 合同会議・懇話会	8
宮城県「柔道整復学」構築学会 第2回ミニ学会開催報告	9
救急救命講習会開催報告	16
文部科学大臣杯争奪	
第21回日整全国少年柔道大会予選宮城県大会・平成24年度宮城県少年柔道大会	17
介護事業企画室 事業計画	20
生活機能向上事業（みやぎ「復興支援人」協働プロジェクト ～はればれ教室～、 地域支援事業、地域包括支援センター主催 介護予防教室講師派遣事業）	23
平成23年度 地域別保険研修会報告	26
災害時医療救護協定締結	28
日本赤十字奉仕団結成	30
機能訓練指導員認定 柔道整復師フォローアップ講習会	31
2012年学会主催研修会東京会場にて 豊嶋良一会長が講演	32
日本柔道整復師会東北ブロック会 開催報告	33
日本柔道整復師会東北ブロック会 学術部勉強会開催報告	34
トピックス	35
モンゴル国指導者講師派遣報告	37
評議員会てどんな組織？	40
新入会員紹介	41
「今」津津	45
風見鶏	46
SVM活動状況（H24.3～H24.6）	48
会務報告（H23.12～H24.6）	49
宮城県「柔道整復学」構築学会 賛助会員	51
宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定	62
編集後記	65

## ●●●副会長挨拶

# 公益社団法人認定の取得へ

宮城県柔道整復師会 副会長 木村 清 徳

今回の震災は、多くの人たちに人生を見つめ直すきっかけを与えたようだ。家族や友人との在り方、働くことの意義を各々の立場で考えることの意味は深い。

震災後一年四ヶ月が過ぎて、一人一人の会員がそれぞれ被災地で復旧、

復興に携わり、自分自身の生活を再建していく毎日に、幸福感を見出しているのではないだろうか。

さて、今回の公益法人改革というもの、これはこれまで公益とされた「社団法人」が新たなふるいに掛けられ、平成二十五年十一月までの移行申請期間中に「公益社団法人」か「一般社団法人」か「解散」かの何れかの道を選択し、決定しなければならぬものです。非常に難しい選択を迫られる中、当会では平成二十四年度中に公益目的事業の項目に「受領委任制度の推進に関する事業」を盛り込んだ公益社団法人認定の取得を目指し、執行部を中心として取り組んでいるところです。

私達は、これまで公益団体として、多くの公益事業活動を推進し、県下における業界の中心的役割を担ってきました。これからも、この方針を継続し、都道府県社団法人柔整師会会長、都道府県知事、地方厚生局長が締結する、三者協定を維持し、受領委任制度を堅持するためには、全会員が公益法人認定の必要性を理解し、公益性を高める事業に取り組まなくてはなりません。行政は今回の東日本大震災の復興費用捻出のため、柔整の受領委任の仕組みや柔整療養費そのものまで消滅させる案すらあるといえます。

今年度は、当会にとって公益社団法人認定取得の大事の時であります。会員一人一人が志を高く掲げ、社会からも行政からも遥かに高い信頼を得るよう努めなくてはなりません。

少年柔道大会・宮城県大会……………17  
「復興支援人」協働プロジェクト  
はればれ教室……………23  
モンゴル国指導者講師派遣……………37



# 平成23年度 第2回通常総会

平成24年3月11日(日) 開催  
フォレスト仙台

平成二十四年三月十一日(日)午前九時十五分より、フォレスト仙台大会場に於いて、平成二十三年度第二回通常総会が開催されました。開会に先立ち、東日本大震災発生一年目を迎えるにあたり、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げると共に、犠牲となられた方々のご冥福を祈り、黙祷が捧げられました。

総会は、目時 誠理事の司会進行により、豊嶋良一会長の挨拶がありました。

## 会長挨拶・要約

東日本大震災よりちょうど一年

奇しくも本日は三月十一日である。昨年三月は総会も開けない状況で、山内会員が亡くなられたと分かったのが三月二十六日、二週間も全会員の消息が分からず、生死の確認さえも出来なかった。大変な一年となったが、今回この様に総会を無事に開催出来た事は、会員、職員のお陰と感謝している。

見舞金二千三百六十二万円の配分は三月八日付で全て終了した。残金

については、前回の臨時総会で承認を頂いた会館修繕、増築に使わせて頂くが、県より公益認定が済んでから始める様に言われている。十月か、もう少し早く出来るかと思うが、その事を了承願う。

**全国初、県と災害における医療協定締結**

阪神淡路大震災より十数年越しで申請してきた県防災会議に参入出来る事になった。災害における医療協定であり、他県も結んでいる単なる協定とは違う。衛生材料等が自分達の負担となる活動とは違い、全て支給され、骨折・捻挫・脱臼・打撲の



治療はもとより、廃用性症候群、エコノミー症候群に対しての対策にまで関わる医療部門での参画であり、これは全国でも宮城県のみである。

又、赤十字奉仕団を設立、年六万円が支給され、他の医師会等と同等になった。協定内容も自信をもって進められる。

### 介護事業に活路を

介護事業に関し、愛知県は一億円以上の収益を伸ばしている。柔道整復業とついただけで公益社団法人が三年取得出来ない実情下で、介護事業に職種を伸ばさなくてはいけない。世間には色々なフランチャイズの様なやり方があるが、それ以上の技術知識を当会では持っている。担当の櫻田統括筆頭理事、松元理事に問合せをして欲しい。

今取り巻く環境は憂える内容ばかりだが、日整会員一万七千人の中、行政と交渉しながらより良い方向へ向かって進めている。

現執行部役員は公務が多く、自分本来の仕事と併行しての業務に負担

が大きく重くなりすぎてきているが、会員相互のより良い環境作りの為に頑張つてゆくのので、ご理解、ご協力頂ける様お願いしたい。本日の審議を宜しくお願いする。

\*\*\*\*\*

議事に入る前に、新職員、高橋理恵職員の紹介に続いて、永年会員表彰、生涯学習認定賞授与、ボランティア活動優良会員表彰が行われ、その後、議長に岩佐和之会員、副議長に中島正彦会員、議事録署名人に西羅昭一会員、秋山信行会員が選出され、冒頭、岩佐和之議長より、総会員三八一名に対し出席一六八名、委任状一七一名で計三三九名となり、本総会が成立する旨が告げられ、議事に入りました。第一号議案から第四号議案まで、大多数の賛成により可決承認されました。一切の議事が終了し、最後に木村清徳副会長による閉会の辞で、平成二十三年度第二回通常総会は滞りなく閉会となりました。

文責 総務部



# 平成24年度 第1回通常総会

平成24年5月20日(日) 開催  
フォレスト仙台

平成二十四年五月二十日(日)午前九時十五分より、フォレスト仙台大会場に於いて、平成二十四年度第一回通常総会が開催されました。

総会は、日時 誠理事の司会進行の元、豊嶋良一会長より挨拶がありました。

## 会長挨拶・要約

### 公益社団申請への進捗状況

公益については、全国で六県取得、実際は七県だったが大阪が取り消しを受け、現在取得は六県の状況。宮城では先日最終的な申請を提出。時間がかかっているがこれは担当者が代わり一から精査されたという経緯の為であったが、今回また前回の担当者に戻りうまくいけるのではないかと期待している。公益事業、ボランティア活動をこれほどやっている県は他にはなく、当県の公益性についての素養は十分と自負している。

### 療養費改訂への動き

医療費改定について、医科は四月

から改定。療養費に関しては、通常であれば示される時期だがまだ分かっていない。今回始めて、厚生労働省、会計検査院、日整と協議を深めている為、通常の六月改定から遅れるだろうと予測している。今週火曜日には日整の緊急理事会も開かれる。柔整師人口の増加の為、制度云々という動きもあり、揉めているのが現実。数字的なものはまだ出ていないが、悪い方向ではなく良くしたいが為に協議を重ねていることをご理解いただきたい。

また、保険部連絡等で通知の通り、現在、宮城の保険請求状況は三傷病が全国四位の多さである。東北では、秋田が真ん中より下、他県はワースト一、二、三位であることからみても、東北では宮城だけが飛びぬけて好成绩であることがわかりいただけるだろう。因みに、自賠償に関しても全国二位である。これもひとえに、宮城が細部に亘って理論武装、担当者対応等々を実践している賜であるので、会員各位におかれては、再三の通知に煩わしく聞こえるかも

しれないが、成果を得る為には、それなりの各自の整えが必要であることを充分ご理解いただき、しっかりと通知に目を通し、整備の上、積極的に請求していただきたい。

### くはればれ教室く開催に向かって

当県では現在、介護事業、協働プロジェクトくはればれ教室く開催に向け準備を進めており、介護機関開設者中心、また今後の開設を目指し



ての教育も進めています。機能訓練指導員としての資格を持つ我々が訪問介護を行い、そこから料金がとれないか、全国初の取り組みとして日整を通し厚生労働省へ折衝中である。宮城はリーダー的存在として、全国からも注目されているので、自覚を持って現状打破へ向け、共に活動して欲しい。

本日は決算総会となるので、宜しく願います。

\*\*\*\*\*

議事に入る前に、新入会員（平成二十三年五月二十四日以降入会者二十六名）の紹介が行われ、その後議長に藤井裕文会員、副議長に林伸也会員、議事録署名人に内海強志会員、千葉典子会員が選出され、冒頭、藤井裕文議長より、総会員三八四名に対し出席一八八名、委任状一五九名で計三四七名となり、本総会が成立する旨が告げられ、議事に入りました。第一号議案から第四号議案ま

で、大多数の賛成により可決承認されました。一切の議事が終了し、最後に木村清徳副会長による閉会の辞で、平成二十四年度第一回通常総会は滞りなく閉会となりました。

文責 総務部



# 平成24年7月 臨時總會開催報告

## 第1号議案 役員欠員に伴う補欠選挙について

定款第13条第2項、第15条、選挙規定第29条、第39条の定むるところにより、役員欠員に伴う補欠選挙により下記役員を選任願いたい。

記

副 会 長	1名
理 事	2名

以上

平成24年7月17日提出  
 社団法人 宮城県柔道整復師会  
 会長 豊 嶋 良 一

### ※定款

#### 第13条第2項

役員は、総会において選任する。

#### 第15条

役員の任期は、2年とする。ただし、補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

### ※選挙規定

#### 第3条

本会の役員選挙は、本会定款第15条による任期満了に伴って行う。

#### 第29条

本規則第3条の規定にかかわらず役員が辞任、解任又はその他の理由で欠員が生じた場合は補欠選挙を行う。

#### 第39条

補欠選挙の実施については、本規定を準用し委員会が決定する。

平成二十四年七月十七日十九時より、赤門鍼灸柔整専門学校青葉山校舎に於いて臨時総会が開催されました。議長には、佐々木裕忠会員が選出されました。佐々木議長は総会の開催に必要な出席人数（委任状含む）を確認、総会の成立を宣言。

第一号議案 役員欠員に伴う補欠選挙について、酒井選挙管理委員長より、立候補者が定数につき無投票当選の説明がなされ、総会で承認されました。

文責 広報部



## 選挙規定準用部分

選挙管理委員会

本規定	準用規定役員 役員補欠選挙 (H24. 7. 9告知)
第1章第4条 選挙期日は理事会の議を経て会長が定める投票日の <u>30日</u> 前までに会員に周知されなければならない。	第1章第4条 選挙期日は理事会の議を経て会長が定める投票日の <u>6日</u> 前までに会員に周知されなければならない。
第5章第32条 立候補は別に定める立候補申請書を選挙日の <u>10日</u> 前に委員長に届けるものとする。	第5章第32条 立候補は別に定める立候補申請書を選挙日の <u>5日</u> 前に委員長に届けるものとする。

宮城県柔道整復師任意組合 通常総会報告

原案どおり満場一致で可決

平成二十四年度任意組合通常総会が(社)宮城県柔道整復師会総会後に同会場、フォレスト仙台で開催されました。

総会に於いて、挨拶に立った豊嶋良一理事長は、任意組合設立からの経過に、組合員の福祉増進及び相互扶助に関する事業、並びに(社)宮城県柔道整復師会の事業支援を行うことが目的と、本日総会の議案事項の審議をよろしく願いますと挨拶しました。

その後、永年会員表彰が行なわれ、総会の議長は、規約第6章第24条に基づき、出席組合員より藤井裕之会員が選出されました。藤井議長は通常総会の開催に必要な出席者数を確認、第23条総組合員の半数以上(委

〔宮城県柔道整復師任意組合規約

第7条第2項 表彰・顕彰〕

・永年在籍表彰(40年在籍)

(昭和46年・1971年入会)

高橋 幸次 会員

田母神 茂 会員

蔭山 京子 会員

・永年在籍表彰(30年在籍)

(昭和56年・1981年入会)

笹沼 政實 会員

高橋 英樹 会員

大宮 茂 会員

土田 智幸 会員

小野寺義美 会員

・永年在籍表彰(20年在籍)

(平成3年・1991年入会)

野田 康二 会員

千葉 勝弘 会員

任状を含む)により総会の成立を報告。議事録署名人は第26条に基づき総会の承認を得て、議長及び出席理事を指名し、議事を進行しました。最後に、木村清徳副理事長は、只今承認された事業計画に則って執行部一丸となって対応していきたい、組合員、皆様の尚一層のご協力をお願いし閉会の辞を述べ、任意組合通常総会を終了しました。

文責 副理事長 木村清徳

〔宮城県柔道整復師任意組合規約

第6条(2) 組合員の功労〕

・在籍20年以上75歳超

小関 惺皓 会員



# SVM代表者 地域代表者 介護事業企画室 合同会議・懇話会

五月二十日、第一回通常総会終了後に平成二十四年度第一回SVM地域代表者会議が開催されました。今回は日赤奉仕団について、各地域代表者が奉仕団分団長を兼任する件、SVM救護バッグ・SVM旗・AEDの使用管理の件、地域連絡網の再整備等の議題について積極的な議論が繰り広げられました。

また、介護事業に関して、生活機能向上事業委員会支部長をSVM地域代表者が兼任しているため、介護事業企画室から現在進行中の、みやぎ復興支援人協働プロジェクト「はればれ教室」、被災地における訪問機能訓練事業、仙台市通所型介護予防事業、介護予防教室講師派遣事業等について説明が行われました。

さらに、この地域代表者が地域密着型の事業展開を目指し、会員の意識や方向性を理解集約、これから当会で行う事業等で先頭に立ち活躍してくれることを切に願います。

文責 統括筆頭理事 櫻田 裕



# 宮城県「柔道整復学」構築学会 第2回 ミニ学会 開催報告

平成24年6月16日(土)・17日(日) 於：茂庭荘

平成二十四年六月十六日(土)・十七日(日)の両日に亘り、茂庭荘(仙台市太白区)に於いて、宮城県「柔道整復学」構築学会第二回ミニ学会が、「部分医療」と「柔道整復師」をテーマに掲げ、開催されました。

これまで、四回の本学会と一回のミニ学会を開催し、回を重ねるごとに内容も充実し、多くの方々に参加していただけるまでに発展してきた矢先に、昨年の震災によって中止を余儀なくされてしまい、関係者一同、大変残念な思いを強いられ、また再開への一抹の不安もございましたが、豊嶋良一会長の力強い挨拶に始まり、「部分医療」についてのイントロダクション、宮城県「柔道整復学」構築研究委員会、公認私的研究会、一般会員の方々の積極的な研究発表エントリや介護企画室報告、お忙しい中、講演をお引き受けくださいました萩原嘉廣先生、水沼一子先生による貴重な特別講演など、「学」の灯を絶やすな！と言わんばかりに演題が目白押し。大変盛会裏に学会を閉





じることが出来ました。

また、学会名誉副会長佐藤捷先生、学会副会長鈴木省三先生、特別講演の萩原嘉廣先生はじめ賛助会員（協力業者様）もご臨席いただいた際の懇親会も大変和やかに楽しく、それぞれコミュニケーションを深めることが出来、まさにミニ学会のコンセプトであります「会員の絆作りの架け



(公社) 日本柔道整復師会公認私的研究発表

「橋」そのものの学会でした。延べ三〇〇名に及ぶご参加をいただき、研修会場を急遽、拡張する等の嬉しい悲鳴的一幕もございましたが、来年の第五回記念本学会に向け、皆様の「学」への熱い手ごたえを感じさせていただきましたので、是非、この熱気をそのまま、来年へと繋げましょう！



宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 岩佐和之第二次委員長報告



宮城県看護協会 水沼一子先生特別講演



(公社) 日本柔道整復師会公認私的研究発表



末筆ながら、準備、運営に当たられました実行委員の皆様につきましては、心より御礼申し上げます。本当にお疲れさまでした。

文責 学術部長 目時 誠



東北大学大学院医学系研究科講師  
スポーツ医科学コアセンター副センター長  
医学博士 萩原嘉廣先生による特別講演



宮城県「柔道整復学」構築研究委員会  
庄子和良第一次委員報告



賛助会員によるプレゼンテーション

# 〈講評〉宮城県「柔道整復学」構築学会

## 第2回ミニ学会に参加して

学会名誉副会長 帝京大学特任教授 佐藤 捷

当学会役員より依頼があったので、表記についての講評というよりも、拝聴し気づいた点についての私見を報告したい。

豊嶋会長以下関係者の努力に深く感謝するところである。

### 3) 特別講演について

(1) 若い東北大学の萩原先生の肩疾患の臨床に関する話は、最近の解剖学的知見と、それに基づく鏡視下手術の実際についてわかりやすくダイナミックに提示され有意義であった。棘上筋・棘下筋の附着部に関する新見解は刺激的で、かつ、手術で確かめる外科系本来のアプローチは誠にオーソドックスなもので、キーワードも面白く、会員諸氏にも新鮮であったと思われる。

いわく、「肩甲骨不安定化を考えると、前鋸筋、僧帽筋を無視するな」「年配者の肩の大脱臼は大半、腱板の大断裂だ」「六十代男性で糖尿病のある患者の五十肩は十度以上のROM制限を残し、かつ、この肩関節拘縮症は広範囲の症状であり、手術となろう」など。

懇親会では筆者は先生に昔の竹田総合病院でのエピソードを話してさしあげた。

(2) 宮城県看護協会の水沼先生の話

1) 二〇一二年六月十六・十七日に開催された「ミニ学会」には二日間で延べ三〇〇参加されたようで、とてもミニではない盛況と内容であった。プログラム・学会誌も百三十二頁と、中央の相当規模の学会と肩を並べる分量であった。また、若手・中堅の方々の積極的行動（発表のチャレンジ）がみられ頼もしく感じた。

2) 特別講演2題、講習会1、構築研究委員会報告4、介護事業報告1、一般発表3題、私的研究会発表3題と、半日ずつ二日でこなすには十分すぎるプログラムであった。「ミニ学会」では提示する側からの一方通行ではなく、会員同士のディスカッションや交流や情報交換（懇親会も含めて）ができることが重要な意義と考えられるので、その点からみると、むしろ、やりとり（質疑応答）はもっと活発であるべきだった。そのための時間をもっととれるとよかったと思う。

種々の困難な状況の中、これだけの地方学会を開催できる迄に払った

は、保健師として地域保健に長く携わり、健康支援事業コーディネーターとして被災地の実地支援の経験豊富な方ならではの迫力のある内容であった。

「看護職（看護師、保健師、助産師）の元気」「縦割り行政」「保健所」「あるべき姿の確認」「仮設住宅における膝痛と運動指導対策」などがキーワードであったか。考えさせる問題がたくさんあることを改めて諸氏は確認したと思われる。

#### 4) 第二次「柔道整復学」構築研究

##### 委員会報告

これについてはあえて注文をつけたい。

##### (1) 経緯

当委員会は、ローカルの立場での学の構築をめざす大志で作られ、今第二次委員会として活動している。検討された発足時のやるべき目標の要点は、

i) 県内の私的継承術法の発掘と整理

ii) 県内の過去の「特異的」非観血的整復ケースのデータの発掘と分析

iii) 治療成績と合併症に関するこれまでの治験のデータベース化

iv) 方法論の現状把握とくに評価の客観化

v) 施術（治療）のガイドラインの作成が可能か

vi) 関連・隣接領域の資料の集計であった。第一次委では主にv)を

目指してiv)に関して検討してきたことになろう（筆者は特別顧問）。

第二次委のテーマは「損傷と修復」とのことであるが、これはiv)を土台としてiii) v)を指すとい

うことであろう。公的委員会の継続性は、委員の恣意的な興味に陥ることなく目標の追求と検証におかれるべきであろう。また、方向性、一貫性、

論理性について常にチェック機能が働いている必要がある。

(2) 報告

以上の点からみると、今回の報告

はiv)が主であり、第一次委の延長線上にあるといえる。

・若井報告…ねらいは大変良いのだが、方法論構成に大きな問題がある。内容に沿ったタイトルとするには「頸部の諸症状要因と重症度評価との間の関連性」であろう。

・新井田報告…実に手間のかかる作業のほずである。柔整学校の教科書が誠に複雑な記載であることを示すものだが、教鞭をとっておられる方々はどう思われるのだろうか。今学んでいる学生も気の毒に思われる。このテーマを次の目標群に上げることが困難であろう。

・岩佐報告…組織損傷への超音波学的接近であり、目標iv) v)に照らし、大変重要な問題である。ただ、示された圧迫と深層と血腫のデータと分子生物学的考察との間に論理の飛躍が見られるのが残念である。

・庄子報告…第一次委のフィールドワークの最終報告とみられる。まとめが視覚的にパッととらえられ

ればよかった。次はどこを指すのか、当然V)治療ガイドライン作成可能性へ向かうはずであろう。

## 5) 会員・研究会の発表

・藤井報告(バランスボール)

たいへんわかりやすい臨床経験例であるが、リハビリテーション医学の立場からみると、これを「整復」という必要があるのかは疑問である。また、これは足関節捻挫再発防止に有効と証明されている(EBM) バランストレーニングとは異なるものである。

・吉本報告(骨折診断シミュレーション)

学校現場で指導している方ならではの切実な、かつ極めて面白い教育実験的発想のテーマである。二年半位学習した三年生に実施したらシミュレーション結果はどうなるうか。会誌の論文に結果としてのデータを提示してほしかった。

・新井田報告(患者統計)

開業している臨床家の初歩的な

しかし基本的に切実なデータである。よくぞ公表したものである。カルテ集計という根気のいる仕事である。当院の特色がよく出ていた。この発表に対する質疑がなかったのはむしろ意外であった。

・津田報告(関節モビライゼーション)

関節の運動(骨運動学)―屈曲、外転などROMで表されるものと、関節運動(関節包内運動)―軸回旋、転がりなどで表されるものとを区別することはリハビリの基礎である。本研究は臨床的研究としては基礎的なものである。当たり前の方法でエクササイズを行って当たり前の結果が出たのであるから、ある意味で「追試」的であるが、基本を踏むことは大切である。症例を増やすともっとよい。

・嶋田報告(医療と宗教の歴史学)

今の若い人々は歴史に興味を示さない。帝京大学柔道整復学科には医学史の講義選択で置いてあるが、極少数の学生しか受講してい

ない。

今回若い演者が大問題のテーマに、年寄りをさておいてよく取り組んだものと感じた。しかし、自然科学思想史の分野をつつ込むには大変な文献研究が必要となる。一九〇〇年代の生理学の大家、クロード・ベルナールの「実験医学序説」―医学を勉強する人のバイブル、本多修郎氏の著「自然科学思想史」―自然哲学の概論書、の二つは、もし目を通しておられなければ是非読んでもらいたい難読書である。

・相沢報告(指PIP掌側板損傷)

基本的な症例研究である。症例1と2とをそれぞれまとめて記述してほしかった。結果を数量で表すことができれば更によかったと思われる。

## 6) 筆者が情報提供した二編の「資料」について

学会会則第四条に

関してであるが、現実には四条①②はセットになって

運用されている。ということは、学会の内容を示すものが単なるプログラムと短抄録掲載のパンフではないということである。実質、論文の形をとるところまで会員諸氏に要求しているのはキツイはずだと思われるが、報告発表された諸氏はよく頑張っておられる。

そこへ少しの情報を提供し、誌の肉付けに加えさせてもらったのである。「追試」の意味と、「素朴な方法と疑問」についてくみ取っていただければ幸いと考える。

## 7) 最後に

(1) 臨床家にとって研究のための研究は不要である。しかし、柔道整復分野については独自の、客観的、正確、共通、の評価法の確立がもつとも急がれる部分である。そのために、共通理解を目指す勉強は必要である。

(2) 当学会にはわかりやすくすぐれた、他に範となる「投稿規定」がある。是非これを守った形の報告

公表をお願いしたい。

(3) 豊嶋会長も「ご挨拶」に述べておられる通り、今回のミーティングはミニではない。「実」に合うような「名」に変えては如何かと思う。

来年予定の本学会が大きく期待される。



# 救急救命講習会 開催報告

平成二十四年六月十七日(日)、茂庭荘に於いて行われた「宮城県柔道整復学構築学会第二回ミニ学会」の中で「救急救命講習会」を開催致しました。講師には、当会会員で日赤救急法指導員であります庄子和良会員を招き、二十八名の会員、準会員、接骨院スタッフ、柔道関係者が受講者として参加されました。

今回は、学校の授業に武道が取り入れられたことを受けて宮城県柔道連盟との共催という形で行われました。柔道関係者の皆様に於かれましては、正しい応急処置が要求されま

すので、真剣に受講され、最後には活発な質問が飛び交っておりまして。二時間という短い時間ではありましたが、参加された皆様に於かれましては、充実した講習会になったと確信しております。

AEDが普及してきた昨今ではありますが、正しい処置法、使用方法を認識している人はまだまだ少ないのではないかと思われます。我々柔道整復師が、これから可能な限りこの講習会を続けて行きたいと感じました。

文責 事業部長 佐々木俊夫



## 文部科学大臣杯争奪

# 第21回日整全国少年柔道大会予選宮城県大会 平成24年度 宮城県少年柔道大会

## 選抜選手で初めて全国大会へ



平成二十四年四月から文科省が、中学校の保健体育の授業に武道を必修科目として取り入れます。めまぐるしく変化する現代社会の中で、忘れかけた日本古来の精神文化を取り戻そうという考えからでしょう。小学生の武道は盛んですが、中学進学などで武道を続けている子どもが極端に減ってしまう状況の中、柔道を修練する中で肉体と精神を磨き、そこから会得する克己心などは、人として生きるべき道を少年に与え得る

ものとして期待されます。

さて、東日本大震災発生から一年が過ぎた平成二十四年四月二十二日(日)、壊滅的な被害を受けた女川町の総合体育館に小学生三十一チーム、中学生五十九チームが集結し、第二十一回日整全国柔道大会予選宮城県大会・平成二十四年度宮城県少年柔道大会が盛大に開催されました。

今回の大会は女川町復興祈念として、国際柔道連盟インターナショナル審判員であり宗家花火鍵屋十五代目の天野安喜子先生を講師に迎え、「審判としてまた柔道選手としての心構え」や、「北京オリンピック競技大会での体験」などの貴重なお話をいただき、さらに各試合会場の主審判員を務めていただきました。

まだまだ大変な試練と闘いながら練習を続けている選手もいる中、元気にひたむきに試合に取り組む様子は毎年大会会場となっている女川町復興を祈念するに相応しい大会になりました。

以下試合結果をお伝えします。

○第二十一回日整全国少年柔道大会  
予選宮城県大会

○平成二十四年度宮城県少年柔道大会

〈小学生〉

- 優勝 大崎柔道クラブA
- 準優勝 名取凌門塾A
- 三位 木村柔道館A
- 〃 七ヶ浜柔道スポーツ少年団

〈中学生〉

- 優勝 木村柔道館A
- 準優勝 七ヶ浜柔道スポーツ少年団A
- 三位 七ヶ浜柔道スポーツ少年団C
- 〃 岩出山少年柔道A

今年度から、小学生上位四チームから選考し平成二十四年十月八日（体育の日）に講道館において開催される「第二十一回日整全国少年柔道大会」へ宮城県代表として出場する選手は次の通りです。

大将（六年） 佐々木海翔

（大崎柔道クラブ）

副将（六年） 佐藤沙真亜

（大崎柔道クラブ）

中堅（五年） 菊地 陽真

（名取凌門塾）

次鋒（五年） 渥美 貴登

（木村柔道館）

先鋒（四年） 瀬戸 宙

（七ヶ浜柔道スポ少）

文責 副会長 木村清徳





# 【介護事業企画室 事業計画】

はじめに

二〇二五年の日本社会は他先進国より先駆けて超高齢化社会（五人に一人が後期高齢者）に突入し、行政方針による「地域包括ケアシステム」の対応策に当会も滑り込む形で足場を固めなくてはなりません。

会員の皆様が不安材料として抱かれている、「療養費改定時の減算」や「社会保障整備改革におけるデフレ社会」における新たな経営活路として、他業種連携、地域密着型、介護保険事業参入は我々業界においても必須課題となります。

## 一、会員の介護事業参入提案

### ○介護事業研修会

柔道整復師の医療保険における療養費の立場をより強固にすると共に、介護保険の機能訓練指導員の役割と、その他、従事する多職種との対話、相談、意見聴取、主張及び提案が出る。

来る環境整備を充実させることを目的とする。講師陣には、理学療法士の先生方から理論の講習、評価及び基本的な動作における分析及び実践指導を充実した内容で開催する。

## 二、多職種連携プロジェクトの推進

○みやぎ「復興支援人」協働プロジェクト（旧…健康いきいき運動教室）

このプロジェクトは、医師、看護師、保健師、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、栄養士、薬剤師、地域包括センター職員、ケアマネジャー、柔道整復師が連携して、生活再建支援を実行する事業である。このプロジェクトにおける多職種連携の根源には、医療の包括的体制整備の概念が当てはまり、二〇二五年の超高齢化社会に向けて地域包括的ケア&ケア体制の構築過程に必要な事業である。

## 三、行政委託事業の申請及び受理

### ○地域支援事業

行政からの委託事業であり、二次予防対象者（六十五歳以上の高齢者）に対する「生活支援サービス」として、地域の介護予防対象者に対して「運動機能低下に伴う予防教室」を通年で行う事業。実施は宮城県柔道整復師会会員が担当して行う。

## 四、宮城県柔道整復師会任意組合に

### よる介護事業開業支援

○開業支援プロジェクト「介護事業開設環境整備」

広域事業及び狭域事業を、当会会員が安心して開業できるための研究会、株式会社設立方法、市場調査（マーケティング）方法、介護報酬請求業務、収支決算における経営シミュレーションを含めて、介護事業全般の開設ハードルを段階的に下げ、することを目的とする。

文責 介護事業企画室

室長 櫻田 裕

## 社団法人 宮城県柔道整復師会 介護事業研修会

会場：赤門学士院国分町校舎 参加登録124名

4月14日  
(土)  
18:30～

- 生活機能向上事業における開催の目的
- 生活機能向上事業対象者の実態について
- 高齢化に伴い低下する運動機能の理解
- 運動における生理学的効果



5月12日  
(土)  
18:30～

- 評価項目の理解と実技
  - ・健康、体調の把握（問診、バイタルサインの計測、観察、動作分析）
  - ・質問紙法について（痛み、主観的健康生活関連）
  - ・体力測定（握力、開眼片足立ち時間、TUG、5m歩行、FBS）
  - ・機能訓練指導員による身体リスク評価（関節可動域、筋力、感覚、バランス）



<p>6月9日 (土) 18:30 ~</p>	<p>○生活機能向上における運動の考え方 ○運動方法実技 (No.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はればれ体操方法 (姿勢改善、ストレッチを含む複合体操)</li> <li>・筋力アップ運動 (バンドを用いて下肢の筋力向上を中心とした運動)</li> <li>・転倒予防バランス運動(足底の刺激や荷重位での運動)</li> <li>・スムーズ歩行運動 (通常歩行や応用歩行))</li> </ul> 
<p>7月7日 (土) 18:30 ~</p>	<p>○運動方法実技 (No. 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道整復師が実施する個別機能訓練の方法</li> <li>・動的関節制動訓練 (Dynamic joint control training: DY JOCトレーニング)</li> <li>・バランス運動方法 (応用編)</li> <li>・インナーマッスル安定化の促進</li> <li>・弱筋群、短縮筋群を把握しての姿勢改善運動</li> </ul> 
<p>8月18日 (土) 18:30 ~</p>	<p>総復習ならびに補習を実施 評価方法のシミュレーション 運動方法のシミュレーション</p>

# みやぎ「復興支援人」協働プロジェクト ～はればれ教室～

## 主催

社団法人 宮城県歯科医師会

社団法人 仙台歯科医師会

社団法人 宮城県歯科技術士会

宮城県 歯科衛生士会

社団法人 宮城県看護協会

社団法人 宮城県栄養士会

社団法人 宮城県薬剤師会

宮城県 言語聴覚士会

仙台市各地域包括支援センター

社団法人 宮城県柔道整復師会

## 共催

学校法人北杜学園 仙台保健福祉専門学校

仙台リハビリテーション専門学校

社団法人 宮城歯科医師会

宮城高等歯科衛生士学校

財団法人 赤門鍼灸柔整専門学校

健生学園 東日本医療専門学校

学校法人 東北柔専仙台接骨医療専門学校

学校法人 滋慶文化学園仙台医健専門学校

## 主管

社団法人 宮城県柔道整復師会

## 後援

復興庁宮城復興局

宮城県

仙台市

第25回全国健康福祉祭 宮城・仙台大会

ねんりんピック宮城・仙台2012

社団法人 宮城県医師会

NHK総合

ミヤギテレビ

仙台放送

TBCテレビ

東日本放送

河北新報社

NPO法人 宮城ケアマネジャー協会

一般社団法人 宮城介護福祉士会

一般社団法人 宮城県社会福祉士会

宮城県老人保健施設連絡協議会

宮城県サポートセンター支援事務所

(順不同)

一、開催期日

平成二十四年九月九日(日)

十時十分～十二時三十分

フォレスト仙台

十月二十一日(日)

十時十分～十二時三十分

高砂市民センター

十一月十一日(日)

十時十分～十二時三十分

古城コミュニティセンター

二、対象者

被災された方、被災された家族の方、生活不活発病に該当される方

三、内容

主催を各団体の健康講話、「健康いきいき運動体操」

四、実施運営

当会および各主催団体

平成二十二、二十三年度に行ってきた「健康いきいき運動教室」を、今年度は、みやぎ「復興支援人協働

プロジェクト」はればれ教室と

発展させました。多業種が協力して

行動することから「協働プロジェクト」として、介護予防の柱である、

運動・口腔・栄養の三分野を歯科医

師会、栄養士会をはじめとした多業

種の連携により、当会が主管となり

全会員の協力のもとで開催いたしま

す。

【地域支援事業（二次予防）】

平成二十四年度 仙台市元気応援教室（通所型介護予防事業）に当会が応募し受託が決定しました。

一、開催期日

平成二十四年九月～十一月、平成二十五年一～三月

二、内容

二次予防対象者に対する機能訓練指導研修会で行われている、「身体

評価測定及び生活行為評価」を同時

に実施し介入後の有意差を検証する。

三、人員配置

柔道整復師三名・看護師一名

四、場所

仙台市民会館・市民センター・

フォレスト仙台

元気応援教室 日程表

平成二十四年

九月一日(土)

九月八日(土)

九月十五日(土)

九月二十九日(土)

十月六日(土)

十月十三日(土)

十月二十日(土)

十月二十七日(土)

十一月三日(土)

十一月十日(土)

十一月十七日(土)

十一月二十四日(土)仙台市民会館

この事業は、現在、市町村が行っている二次予防事業を当会が受託し、

地域会員の皆様が実際の運営にあ

たっていたり、事により、介護予防の認識を深め、機能訓練指導員としてのスキルアップにつながることを目的としています。また、今後は県内の各市町村での受託も視野に入れていますので、地域内会員の相互協力による受託となります。

【地域包括支援センター主催 介護予防教室（一次予防）】

仙台市青葉区・葉山地域包括支援センター…六月二十日終了（介護事業企画室員対応）  
仙台市青葉区・長町地域包括支援センター…八月二十三・三十日の二回依頼

内容（二〇〇分）

- 一、あいさつ
- 二、社団法人宮城県柔道整復師会および公益事業の紹介 一〇分
- 三、生活行為評価 三〇分
- 四、身体機能評価 三〇分

五、生活リハビリテーションの実践 十五分

六、運動の継続の必要性を説明 十分

七、あいさつ

この事業は、これまで当会が協力していた「ベガルタ仙台介護予防運動教室」と同じ一次予防対象者向けの教室です。一回または二回の開催となり、随時、地域包括支援センターが企画し開催するものです。

この事業も、県内各市区町村で地域会員が、それぞれの地域包括支援センターに提案し、依頼を受けて行うことが可能となるように、統一したプログラムを企画中です。

文責 介護事業企画室

室長 櫻田 裕

## 募 集

—— 意見・提言・趣味 ——

— 考え、思いつき、感想、提案、会員生の声 —

あなたのご意見をお聞かせください。

- 意見を出さず、体制に追随していませんか。
- 意見を言わず、諦めていませんか。宮城県柔道整復師会は、あなたの社団です。
- 誰かがやるだろう、誰かが切り開いてくれると思っていませんか。
- 一人の意見が、大きな舵取りになることもあります。  
あなたは、(社)宮城県柔道整復師会の会員です。
- どんなことでも結構です、あなたの意見、希望、疑問、情報、なんでもお知らせください。

○投稿 ○電話 ○FAX ○インタビューにうかがいます。

**どんな方法でも結構です、一歩前へ！**

# 平成23年度 地域別保険研修会報告



平成二十三年度の地域別保険研修会は、平成二十三年十月三十日(日)仙台地域青葉区①開催を皮切りに平成二十四年三月二十四日(土)栗原、登米地区を最後に全ての日程を終了し、会員三八一名中、三二八名(約八三五%)の参加を頂きました事に感謝いたします。

今回の地域別保険研修会は、例年開催してきた方法とは違い、まず研修会会場と懇親会会場を同一会場としました。これは、平成二十三年三月十一日(金)午後二時四十六分に起きた東日本大震災により、翌々日に開催される予定の平成二十三年度第二回通常総会、六月に予定していたミニ学会も中止、様々な行事事業の中

止を余儀なくされた事と、震災後は、震災(津波)に伴う会員・家族の安否確認に始まり、会員施設所・自宅の被害状況確認、医療救護ボランティア活動等、めまぐるしく、慌ただしい半年が過ぎ、ようやく会務も通常運営が出来るようになった時に「全会員の地域を廻り会員の現況確認と顔を見て話したいという」豊嶋会長の強い要望により、例年、研修会場で開催した地域別保険研修会と、親睦を目的にした懇親会をドッキングさせて開催する事となりました。回のような形で行う事になりました。各地域代表が会場予約・運営にあたり、三役と、保険部の五名体制で各地域に赴き、一時間三十分の研修会では、保険業務の再構築(診察の進め方)、自賠責保険関連のQ&A、平成二十二年改正内容等の徹底周知を含めた最新の保険取扱い上の注意事項等の説明を行い、その後の懇親会では、普段聞きにくい事等も含めての相談や、会員各位との忌憚の無い意見交換が出来たと思います。

今後行なわれる平成二十四年度、二十六年度改正は、柔道整復師にとって更に厳しいものになると予想されます。これは柔道整復師自ら療養費の支給基準順守の徹底。並びに社会保障制度の長期的持続性の確保。制度改革でありますので、今一度原点に戻り、国民の為に始まった受療委任払い制度堅持の為に、日々の診療時に更なるインフォームド・コンセントを徹底して頂きながら、研修会時に配布致しました資料をご活用頂ければ幸いです。

また、地域別保険研修会（少人数制）の毎年開催を会員より要望頂いておりますので、継続出来るように進めていきたいと思います。

最後に、地域別保険研修会開催にご協力頂きました地域代表各位、役員各位、保険部員、リスクアセスメントアドバイザー各位に感謝、御礼申し上げます。

文責 保険部長 松元 浩二

### 平成23年度 地域別保険研修会開催日程

開催日	開催地域	参加人数 (重複参加除く)	会場
23. 10. 30(日) 午後5時～	仙台地域 青葉区①	54名	いちくら 仙台市青葉区上杉1-11-18
23. 11. 12(土) 午後6時～	仙台地区 青葉区②		
23. 11. 13(日) 午後5時～	仙台地域 宮城野区	41名	海鮮居酒屋 花の舞仙台東口店 仙台市宮城野区榴岡1-1-1
23. 11. 26(土) 午後6時～	大崎地域	30名	だんまや水産(リオーネ古川店) 大崎市古川台町9-20
23. 12. 3(土) 午後6時～	仙台地域 若林区	23名	海鮮ダイニング萩 仙台市若林区若林2-6-2
23. 12. 10(土) 午後6時～	仙台地域 泉区	36名	天空 TEN-KU 仙台市泉区泉中央1-16-17
24. 1. 28(土) 午後6時～	塩竈、多賀城、宮城、 黒川地域	21名	ホテル グランドパレス塩竈 塩竈市尾島町3-5
24. 2. 18(土) 午後6時～	仙南、名取、岩沼、 亘理地域	35名	守屋寿司 名取市増田北谷246-1
24. 2. 25(土) 午後6時～	仙台地域 太白区	24名	焼肉レストランひがしやま 長町駅前店 仙台市太白区长町5-13-27
24. 3. 17(土) 午後6時～	石巻、気仙沼、 本吉地域	28名	割烹 小松 石巻市千石町1-2
24. 3. 24(土) 午後6時～	栗原、登米地域	28名	ホテル ニューグランヴィア 登米市追町佐沼字中江4-12-12

# 医療救護協定締結

…… 柔道整復師会・行政と災害協定 ……

平成二十三年十二月二十二日、積年の思い実りまして、宮城県との「大規模災害時における医療救護協定」を締結することが出来ました。

協力の内容…

- 1) 避難所及び救護所等における応急的医療救護
- 2) 被災者の緊急避難場所等としての会員施術所の提供
- 3) 医療救護班による医療救護活動の補助
- 4) その他甲（宮城県）が必要と認める活動

当会は、一九九五年の阪神淡路大震災における教訓を基に、接骨院ボランティア宮城（通称SVM）を結成。以来、今日まで十六年間、「求められる柔道整復師」、「応えられる柔道整復師」を旗印に、災害時における医療救護体制を整えてきました。宮城国体医療救護を皮切りに、スペシャルオリンピックス日本（SO日本）宮城・医療班に参入すると共

に、年間二〇〇件の、県、市町村レベルのスポーツ大会およびイベントでの医療救護ボランティア活動や、新潟中越地震、岩手宮城内陸地震への「県境なきボランティア活動」として積極的に災害現場に向き組織力を発揮。さらに地域にあっては会員個々人が地域資源となりえることを目的に、会員相互の実戦的な経験を積んできたところです。

その成果が、この度の東日本大震災に於いて壊滅的被災状況の中、先ずは活動できる会員から、各地域の避難所や施術室の開放等で敏速に対応する一方で、いち早く「社宮城県柔道整復師会災害ボランティア対策本部」を設置、日整を窓口到他県からの柔道整復師会応援ボランティアの受け入れコーディネイトの責任を果たすことが出来ました。同時に当会会員によるSVMの機能回復に伴う一連のめざましい活動等が高く評価されて、県より感謝状を賜るに至りました。

この度の協定締結を大きな節目に、

## 県柔道整復師会 県と災害協定

# 医療救護で協力

県は、社団法人「県柔道整復師会」（豊島良一会長、会員約380人）と大規模災害時の医療救護活動に関する協力協定を締結した。

予防に向け、体をほぐすなどのボランティア活動を展開した。豊島会長は「（協定締結で）阪神大震災以来の長年の課題が実現した。

一生懸命頑張りたい」と話す。岡部敦県保健福祉部長は「技術を生かし方の際には、被災者の支援に協力してほしい」と語る。

脱臼、ねんざをした被災者への応急処置や医療救護チームの補助、会員が開業する施術所の緊急避難場所としての提供など、4項目を明記した。柔道整復師は国家資格の一つ。各地で整骨院や接骨院などを開業している。震災後は各地の避難所で、エコノミークラス症候群や生活不活発病の



岡部敦県保健福祉部長より協定書を受け取る豊嶋会長

私達柔道整復師は有事に在っては運動器系の急性・亜急性・反復性外傷に対する保存的療法を業とする「部分医療」の立場から、医療救護はもとより、エコノミー症候群及び廃用性症候群や生活不活発病などの予防並びに機能訓練指導員としての身体的機能回復訓練等において、その社会的義務を果たしてゆくべく、会員一同、一層気持ちを引き締め、決意を新たにいたしております。

文責 広報部

平成23年度 通常総会	2
平成24年度 通常総会	4
平成24年7月 臨時総会	6
「柔道整復学」構築学会	
第2回ミニ学会開催	9
少年柔道大会・宮城県大会	17
トピックス	35
モンゴル国指導者講師派遣	37
新入会員紹介	41
今津津・風見鶏	45

# 日本赤十字奉仕団結成

昨年三月十一日の震災を受けて、日本赤十字宮城県支部の井上様からご連絡頂き、柔道整復師の業務、骨折・脱臼・捻挫・挫傷を取り扱う「部分医療」を担っているということをご理解して頂き、一緒に活動して行きたいということで、平成二十四年二月より、日本赤十字奉仕団と協定を結び、「宮城県柔道整復師日赤奉仕団」として登録させて頂いております。

現在日赤奉仕団の活動は「心のケア」と称して、多賀城の仮設住宅を活動場所にして月に一度、他の奉仕団の皆様と一緒に活動しております。その中で日赤宮城県支部に我々柔道整復師が、日常の仕事の中で行っていることが、体と心のケアに繋がっていると認識頂いており、「心のケア」に一番適しているということで宮城県柔道整復師会がご指名を頂きました。

先人が築き上げて歩んできたことが、この震災をきっかけに、周囲から認識され始めました。これから柔

道整復師ということに誇りを持ち、これから活動して行きたいと存じます。

文責 事業部長 佐々木俊夫

## 赤十字の基本原則

### 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

人道 (Humanity) 国際赤十字・赤新月運動 (以下、赤十字・赤新月) は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力、および堅固な平和を助長する。

人道…赤十字は、あらゆる状況下で人間の苦痛を予防し軽減する。  
「人道」を基本原則の第一に掲げて活動しています。

# 機能訓練指導員認定

## 柔道整復師フォローアップ講習会

平成二十三年十二月十一日(日)、午前九時三十分より赤門鍼灸柔整専門学校 国分町校舎に於いて、日整保険部介護対策課、三谷 誉先生の講義のもと、機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会が開催されました。

平成十八年の介護保険改正に伴い、柔道整復師は機能訓練指導員として介護サービスや介護予防事業への参入が認められ、日整では、機能訓練指導員認定柔道整復師講習会を開催し、柔道整復師の行う機能訓練指導が行政にマンパワーとして、アピールも踏まえ、全国的に介護サービスの現場や地域支援事業で提供されております。

当県に於いて、平成二十一年一月及び平成二十二年一月に講習会を受講し、機能訓練指導員認定柔道整復師となられた方々は三年ごとの更新にあたり、フォローアップ講習の受

講が必須となっています。この度の開催における出席者は、県内一八名、県外二名、合計二〇名が参加され盛大に行われました。

文責 千葉 勝弘



介護事業参入への重要性を訴える豊嶋良一会長



熱心に講義を聴講する会員

# 2012年学会主催研修会東京会場にて 豊嶋良一会長が講演

平成24年6月3日(日) 11:50~16:10

於 学校法人花田学園日本柔道整復専門学校



当日は、前日の好天とは打って変わって、どんよりとした曇り空でしたが、その分、東京特有の蒸し暑さもさほど感じることなく、あまり空調にも頼らずに、快適な環境で受講することができました。

研修会メニューにつきましては、皆様のお手元に届いている通りですが、その中の教養講座では、本学会会長であり、日本柔道整復接骨医学会理事でもあります豊嶋良一先生が、「いち柔整師から見た東日本大震災」というテーマで講演されました。

本研修会には、約百名の学会会員が参加されておりましたが、東日本大震災に対する関心度は、一年三ヶ月が経過した現在でも大変高く、参

加者皆、食い入るように豊嶋良一先生の講演を聴き、準備した動画や写真に見入っておりました。

そのようなことから、参加者皆、大変有意義な手ごたえを感じた講演だったことと思います。講演時間枠内では豊嶋良一先生もお伝えしたいことを十分お話ししきれず、また参加者からの多方面にわたる質問にも対応する時間が取れなかったことが、大変、残念でございました。(もつと講演を聴きたい、時間を延長して欲しいとの声を会場より、多数うかがいました)

本年九月二日(日)には、仙台市に於いて、本研修会の開催が決定しております。特に、今年の本学会は遠方の福岡市での開催となるため、東北からは参加できない方も多くいらっしゃることに存じます。そのような方々のために設けられたのが、この学会主催研修会ですので、認定柔道整復師取得や更新のためにも、奮って参加くださいますよう御案内申し上げます。

文責 学術部長 目時 誠

# 日本柔道整復師会

## 東北ブロック会 開催報告

平成二十三年度の東北ブロック会の事業につきましては、昨年の震災の影響で中止を余儀なくされておりました。平成二十四年度東北ブロック理事会（旧東北柔道整復師連合会）は、予定を変更することなく、平成二十四年一月二十一日に全年間予定を全うできました。今年度は、日整柔道大会予選会の再開をはじめ、来年度のブロック事業の完全再開へと向けて、理事会にも一層、熱がこもって参りました。

### 東北柔道整復師連合会

平成二十三年度 第四回 理事会

平成二十四年一月二十一日(土)

於：江陽グランドホテル 四階

#### 「琥珀の間」

#### ※議題

①平成二十二年度収支決算報告について  
②会則の変更について  
③平成二十三年度表彰者の承認について  
④柔道部会について  
⑤連合会各県統一の学術研修会案内に関して

\*平成二十四年度より会の名称が「日本柔道整復師会 東北ブロック

ア)「東北ブロック学術部通信」

(案)

イ) 他県研修会参加時の参加費について

⑥日整派遣講師を各県より推薦する案についての報告

⑦平成二十三年度の収支見込

⑧平成二十四年度事業計画及び収支予算

⑨選挙管理委員及び予備委員推薦(接骨医学会)

⑩その他

### 日本柔道整復師会

### 東北ブロック会

平成二十四年度 第一回 理事会

平成二十四年四月七日(土)

於：仙台国際ホテル 六階

#### 「桐の間」

#### ※議題

①会則の変更の確認について  
②平成二十三年度 事業報告並びに収支決算報告について

③平成二十三年度 監査会報告に

ついて

- ④平成二十四年度 事業計画（案）並びに収支予算（案）について
- ⑤平成二十四年度 日整全国柔道大会選考大会及び日整全国少年柔道形競技大会要項確認について
- ⑥卒後臨床研修について
  - 1) 二十四年度の開催予定をカリキュラム・講師関連
  - 2) 本研修代表者の位置付けについて
- ⑦監査並びに監査報告の日程について
- ⑧懇親会費の見直しについて
- ⑨各部より連絡
- ⑩その他

文責 日時 誠

## 日本柔道整復師会東北ブロック会

### 学術部勉強会開催報告

平成二十四年六月九日(土)、午後三時より仙台国際ホテル六F 桐の間に於いて、帝京大学特任教授の佐藤捷先生をお招きして、論文の作成方法について、統一した書式にする為のご講義を頂戴いたしました。勉強させていただきました内容につきましては、各県に持ち帰り、来年七月二十日・二十一日に仙台国際センター開催されます日本柔道整復師会東北学会での研究発表論文に反映させることになっております。因みに、当会に於きましては、従前より宮城県「柔道整復学」構築学会論文投稿規定を広報誌にて、毎回掲載させていただいており、この度の勉強会でも、規定として大変整備されているとの評価を頂戴いたしましたので、改めて加筆させていただく点はございません。広報誌の該当ページにお目通しいただきまして、それに倣い

研究発表の際の論文を作成していただきますよう宜しくお願い申し上げます。

#### 参集者

帝京大学医療技術学部柔道整復科特任教授

宮城県「柔道整復学」構築学会  
名誉副会長 佐藤 捷先生

日本柔道整復師会東北ブロック会  
学術部員（順不同・敬称略）

鶴田 直司(青森県)  
笹山 明(岩手県)  
赤川 和浩(秋田県)  
奥山 治朗(山形県)  
内籐 良博(福島県)  
日時 誠(宮城県)

文責 東北ブロック会学術部員

日時 誠

# トピックス

当会の豊嶋会長は、公益社団法人日本柔道整復師会の理事（保険部会保険部員理事・介護保険リーダー）でもあり、その立場から、柔道整復師が介護保険分野にどうかかわっていくか一つの道筋（可能性）を示されました。（下記新聞記事参照）

## 日本柔道整復師会



理事 豊嶋良一氏

### 接骨院を介護予防の場に

——介護保険分野における柔道整復師の活躍について。

豊嶋 柔道整復師は骨折、脱臼、捻挫、打撲など外傷性の部分医療を業とする国家資格者で、運動器系の疾患や機能訓練のプロフェッショナルである。介護保険分野ではケアマネジャーの基礎資格となっている他、通所介護などの機能訓練指導員にも位置付けられている。

特に機能訓練指導員においては、老年医学やリスクマネジメントを理解した上で機能訓練を実施することが重要なため、日本柔道整復師会では「個別機能訓練マニュアル」

を刊行し、それを用いて全国統一の講習会を実施している。講習修了者は「機能訓練指導員認定柔道整復師」として認定し、現在およそ1万7000人いる当会の会員のうち、実に9000人以上が認定者となっている。

さらに「機能訓練指導員認定柔道整復師」は認定期間3年の更新制にしているため、「取ったらおわり」ではなく、全国各地でフォローアップ講習も行われている。このように介護保険分野では日本柔道整復師会の下、介護予防に全力で取り組み、運動器の機能向上に関する知識、技能を持ったプロフェッショナルを養成している。

——介護予防分野での実績は。豊嶋 昨年3月末の実績になるが、市町村が実施する地域支援事業の中で、1次予防事業は21都道府県83市区町村、2次予防事業は27都道府県60市区町村で委託を受けている。現在行われている地域支援事業の多くが、20〜30人の高齢者を集めて、集団に対して予防事業を行うタイプ。ただ、そつしたやり方だと、その場

に参加できない高齢者に対して介護予防サービスを提供できない。そのため、高齢者に集まってもらうのではなく、こちら側から高齢者宅を訪問し、機能訓練を行うというアウトリーチ型の機能訓練を行政側に提案し、現在、愛知県と静岡県各市町村で採択されている。

もう一つ我々が行政に提案しているのが、地域にある接骨院を介護予防を提供する一つの場所として活用し、少数の高齢者に対して、個々の状態に応じた個別機能訓練を実施するという案だ。我々の取り組みでも、少数で個別性に着目した機能訓練を行った方が有効というデータが出ている。是非、検討してもらいたい。

——地域包括ケアの中で柔道整復師が果たす役割は。豊嶋 地域包括ケアは、我々が単独で担っているものではない。そのため、地域の行政、医療機関、他の専門職と一緒にあって、その地域を守っていくというスタンスが基本となる。

特に求められるのは、全分野医療を担う医師と部分医療を担う柔道整復師による「医療連携」であろう。昨年、東日本大震災があり、東京武道館にも約3500人の被災者が避難してきた。我々柔道整復師も医師と一緒に回診し、避難所で問題になった廃用症候群や生活不活発病に対しては、我々が対応にあたった。こうした対応が「医療連携」の一つのモデルだと思う。「接骨医」と呼ばれた我々の先達は、地域に根差したコミュニティの中で様々な関わり合いを持ちながら信頼を得てきた歴史がある。

部分医療を業とする柔道整復師は、医療と介護の切れ目のない生活圏域における選択的サービスを実践できる地域資源として、地域包括ケアの中で介護予防にとどまることがなく、課題のある高齢者に対して他職種へと繋いでいくコーディネーター的役割を發揮できる立場であることも認識している。

一例として、現在、日本柔道整復師会傘下、全国都道府県との相互協力の中で、認知症サポーターとして、認知症の人や家族を全国規模でサポートしている。



# モンゴル国指導者講師派遣報告

(二月二十七日～三月二十六日)

横田良介

## 埃っぽいモンゴル

世界で最も寒い首都はどこか御存知だろうか。モンゴルのウランバートルである。内陸にあるせいであるう、マイナス四十～五十度になるといふ。そんな極寒を体験してみたい気持ちもあって、寒暖計持参でモンゴルの地に立ってみた。だが残念なことに、二月末は極期は過ぎ去り、マイナス二十五度しか体験できなかった。それでも濡れタオルを振り回せば、間もなく凍りついたが、日本で想像していた程寒くはない。マイナス十度位ならTシャツ一枚で屋外に出てもそう寒くはない。唯、耳や指尖など肌の露出したところは痛く感じるが、ゾクゾクして鳥肌が立つようではない。空気が乾燥して

いるせいであろう。この乾燥のせいで、ホテル滞在中静電気に悩まされた。エレベーターでボタンを押す時、部屋のドアに触れた時等、日に何度もイヤな思いをさせられた。町の空気は乾いて埃っぽい。町自体が周囲をなだらかな丘に囲まれて盆地の底に成り立っている。車の排気ガスが溜まった状態になる。更に首都であつても板塀に囲まれた中にゲル(テント)が数多く存在し、石炭で暖をとっている。煙がひどい。ホテルの窓の外に寒暖計を置いているが、窓を開けた瞬間煙が鼻孔を刺す。寒暖計は一晩で埃に汚れる。でも悪いことばかりでもないのは通勤途中凍結した坂道を歩くのだが、寒気と埃のせいで案外滑らないのである。

## 日本人抑留者慰霊碑を訪ねて

かつて日本とモンゴルの間には不幸な時代があつた。日本が実効支配していた満州とソ連と友好の深いモンゴルとの間で、国境線をめぐって軍事衝突が起きた。ノモンハン事件である。更に日ソ不可侵条約を破つたソ連軍が対日宣戦を布告するとモンゴルはこれに従つた。モンゴルの参戦七日後に終戦を迎えた。モンゴ



ルは対日参戦の恩賞として、ソ連が抑留した旧日本軍六十万人の一部、一万二七〇〇人を分け与えられた。抑留者は主にウランバートルの建設に当てられた。町の中心となっている政府庁舎・科学アカデミー・国立大学・オペラ座・スフバートル広場などは、ほとんど日本人抑留者の犠牲の上のできあがったものであった。日本人犠牲者は一六八六人が確認されている。町の中心から北東に約十五km、バス停から徒歩で二十分程の丘陵の中腹に、日本人抑留犠牲者を悼む慰霊碑が建てられている。我々指導者三人は、日曜日を利用し



てここを訪れた。眼下にウランバートルの町並が一望できる見晴らしの良い所にそれはあった。入口の門に近付くと、管理棟から四十〜五十代の女性が出てきて扉を開けてくれた。静かな口調と穏やかな物腰から、又顔立ちも一見日本人のように思われた。尋ねると違っていたが、ここで眠る犠牲者も、このような人に守られて屹度安らかであろうと思われた。施設内は途中で階段を昇っていくのだが、参拝路は滑らないよう、綺麗に雪を掃いてあった。普段訪れる人が少ないのに、ましてや雪の季節

に、いつ誰が来てもいいように、充分手入れが行き届いている感動した。この施設の施設は、荒れるにまかせた状態のものが往々にして見られることから、尚更管理の女性に心から謝意を表した。

この施設では不思議な体験をした。広い丘陵の中腹にある慰霊施設は、身の丈に満たない高さの半円形のコンクリート塀に囲まれている。そこで話す声がよく響き、大きく聞こえ、何人もの人が話すかのように耳に届



く。ここに眠る日本人抑留犠牲者が、久し振りの日本人に地下から一斉に、我先に語りかけている錯覚にとらわれた。勿論周りを見渡しても、声が反響する環境にはない。半円状の堀にその効果があることも思えない。やはり、自分達のことを忘れないで欲しいという脚元からの声がそうさせているかのようである。強い望郷の念を抱きながら願い叶わず斃れた無念の声が重なり合って訝となつていのように思える。施設の中央に大きな黒御影石が据えられてある。表面にモンゴル全土の地図が刻まれ、十六ヶ所の収容所が記されている。そして石盤いっぱい、東南方向に太い線が刻まれている。それは、いつか帰る筈だった故国日本に向かって延び、背後の丘を越えたその先を指している。先人の死を無駄にははならないと固く心に誓い、花を手向けて合掌した。何故か、帰り脚は軽く、清々しい気持ちに包まれた。モンゴルでのこの事業に、更に熱気が湧いてきた。



# 評議員会って どんな組織？

評議員会は、宮城県柔道整復師会  
会員と、会員以外の外部意見を幅広  
く聞き、会運営に反映する為、本会  
の中に設置されている会です。

評議員会は「評議員会規定」の基、  
八名で構成され、任期は二年、会長  
以下理事・監事の役員は兼ねる事が  
出来ません。

役割は、理事会より付託された事  
項、及び、重要な計画や実行に関す  
る事項を審議し、その意見を理事会  
へ上申、又は、理事会で述べる事が  
出来ます。更に、「理事会は意見を  
尊重しなければならぬ」と、規定  
第4条（権限）に記載されておりま  
す。

本会の良いところは、このような  
評議員を設置して広く意見を聞いて  
いることと、評議員に会員以外に広  
く外部から、柔整学校関係者・学識  
経験者・女性の人を幅広く任命して  
いる事です。これは、任命する現役  
員の度量の大きさの証と思います。  
それが、色々な角度の違う意見・要  
望などが出て、会の執行に反映され  
ているのかと思います。

メンバーは次の通りです。

## 評議員会議長

寺澤 豊志様（佐沼整骨院院長）

## 評議員

鮫名 満様

社団法人 宮城県交通安全協会

専務理事

高橋 武彦様

財団法人 赤門学士院 赤門鍼

灸柔整専門学校 教務課主任

松川いずみ様

仙台接骨医療専門学校 講師

杉浦 永子様

第一印象研究所 代表

大江 恵子様

めぐみ社会保険労務士事務所  
特定社会保険労務士

文責 宮城県柔道整復師会

評議員会



# 新入会員紹介

① 氏名 ② 生年月日 ③ 院名 ④ 開設年月日 ⑤ 出身校 ⑥ 出身地 ⑦ 趣味・特技 ⑧ 理念



- ① 木村 健志
- ② 昭和57年3月7日
- ③ きむら整骨院
- ④ 平成24年4月1日
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校（東北柔専）
- ⑥ 岩手県盛岡市
- ⑦ 趣味：釣り 特技：家庭菜園
- ⑧ 日々地域の健康、医療の役に立てるように向上心を持ち仕事に励みたいと思います。



- ① 作山 仁一
- ② 昭和52年1月11日
- ③ ささき鍼灸整骨院
- ④ 平成24年4月11日
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 福島県
- ⑦ 趣味→旅行 特技→歌
- ⑧ 明るく楽しく真剣に



- ① 鈴木 善博
- ② 昭和59年4月18日
- ③ すずきよしひろ整骨院
- ④ 平成24年7月17日
- ⑤ 仙台接骨専門学校
- ⑥ 石巻市
- ⑦ 趣味、治療・洗車  
特技、田んぼのすまっこ植え
- ⑧ 患者さんが笑顔でより良い人生、生活を送っていただけるように治療する。



- ① 姉崎 仁
- ② 昭和61年4月16日
- ③ めくもりの接骨院 en (えん)
- ④ 平成24年4月1日（ちなみに院長交代です）
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 長野県
- ⑦ 食べ歩きと食べた分身体を動かすこと！
- ⑧ 老若男女誰もが入りやすい地域に根付いたアットホームな整骨院を目指しております。





- ① 二瓶 真一
- ② 昭和59年7月20日
- ③ フィット接骨院
- ④ 平成24年4月1日 分院長交代
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 福島県
- ⑦ 野球・サッカー日本代表の応援
- ⑧ 業界の発展と社会貢献出来るよう、一生懸命頑張りたいと思いますので、ご指導の程宜しくお願い致します。



- ① 三瓶 隆弘
- ② 昭和60年6月1日
- ③ まえだ中央整骨院
- ④ 平成24年4月1日
- ⑤ 東北柔専 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 宮城県仙台市
- ⑦ バスケットボール、スポーツ観戦
- ⑧ 患者様のニーズに少しでも応えられるように日々勉強！日々努力！



- ① 横浜 章智
- ② 昭和60年11月21日
- ③ よこはま整骨院
- ④ 平成24年4月6日
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 青森県十和田市
- ⑦ 読書、釣り、ネットサーフィン
- ⑧ 一人一人の患者様を大切に、より早く治ることを理想として治療をしていきたいと思っております。



- ① 伊藤 裕
- ② 昭和53年11月28日
- ③ わかば接骨院
- ④ 平成24年4月11日
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 仙台市若林区若林
- ⑦ 趣味：釣り、サッカー、バイク
- ⑧ 地元で根差した接骨院



- ① 横田 泰憲
- ② 昭和59年6月2日
- ③ 泉中央杜都整骨院
- ④ 平成24年3月26日（院長交代）
- ⑤ 日本工学院北海道専門学校（柔整）  
赤門鍼灸柔整専門学校（鍼灸）
- ⑥ 北海道
- ⑦ バイクでツーリング、自然を感じる事
- ⑧ 私たちはみなさまの心と体を良くし、地域社会に貢献します。





- ① 緑川 富洋
- ② 昭和58年12月10日
- ③ 楽動青山整骨院
- ④ 平成24年4月1日（院長交代）
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 福島県
- ⑦ ドライブ
- ⑧ 短時間型デイサービスも併設していますが、患者様、利用者様、またスタッフからも笑顔でありがとうと言って頂ける職場を目指しています。



- ① 中川 裕章
- ② 昭和56年5月15日
- ③ 中川接骨院
- ④
- ⑤ 杏文学園 東京柔道整復専門学校
- ⑥ 宮城県
- ⑦ 趣味：家族旅行、特技：柔道
- ⑧ 本部団体公益社団法人日本柔道整復師会及び社団法人宮城県柔道整復師会の提唱する、我々柔道整復師は部分医療を業とする、骨折、捻挫、打撲、挫傷及び運動器系の急性、亜急性疾患に対するプロであり、科学的根拠に基づく臨床効果を十分に発揮し得る機能訓練指導員の資格をも有するプロであることに責任を持ち実践する。



また、我々は「医療と介護の切れ目ない生活圏域における選択的サービス」を実践できる国家資格者として、介護現場において、「求められる柔道整復師」、「応える柔道整復師」と成り得る為の、更なる強烈なスキルアップ対策と環境整備自らが実践し、自身の保有資格である柔道整復師の「立ち位置」は「どこにあるのか」の棲み分けを明確にしなければならない事を意識して真摯に業務に取り組む。



- ① 會澤 文朗
- ② 昭和55年2月21日
- ③ 本間整骨院
- ④ 平成24年6月1日（院長就任日）
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 宮城県
- ⑦ 読書、陶器鑑賞
- ⑧ 痛みは必ず治す！



- ① 石倉 拓哉
- ② 昭和60年7月8日
- ③ 良心整骨院
- ④ 平成24年5月22日
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 宮城県仙台市
- ⑦ 釣り
- ⑧ モラルを学び守ること、そして1日でも早く患者様が良くなっていく為には何が必要なのか、またそれについて勉強し施術していくことです。





- ① 柴田 匡一郎
- ② 昭和50年12月13日
- ③ 仁接骨院
- ④ 平成24年4月1日
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 宮城県塩竈市
- ⑦ ドライブ、旅行が趣味です
- ⑧ 日常に地域貢献を取り入れた環境づくり



- ① 弓田 龍輔
- ② 昭和58年10月20日
- ③ 杜のすずめの整骨院
- ④ 平成24年4月2日
- ⑤ 赤門鍼灸柔整専門学校
- ⑥ 福島県
- ⑦ 登山、サイクリング
- ⑧ 笑顔・謙虚・真心



- ① 藤巻 剛
- ② 昭和51年10月16日
- ③ あおぞら整骨院
- ④ 平成24年5月11日
- ⑤ 仙台接骨医療専門学校
- ⑥ 北海道函館市
- ⑦ 音楽鑑賞 旅行 腕相撲
- ⑧ 患者さんが何でも相談でき、安心感を与えられる雰囲気を作る。治療は勿論、日々の体調管理をサポートできるよう努める事です。



## 募 集

—— 意見・提言・趣味 ——

— 考え、思いつき、感想、提案、会員生の声 —

あなたのご意見をお聞かせください。

- 意見を出さず、体制に追随してはいませんか。
- 意見を言わず、諦めてはいませんか。宮城県柔道整復師会は、あなたの社団です。
- 誰かがやるだろう、誰かが切り開いてくれると思っていませんか。
- 一人の意見が、大きな舵取りになることもあります。  
あなたは、(社)宮城県柔道整復師会の会員です。
- どんなことでも結構です、あなたの意見、希望、疑問、情報、なんでもお知らせください。

○投稿 ○電話 ○FAX ○インタビューにうかがいます。

**どんな方法でも結構です、一歩前へ！**

# 「今」津津

東日本大震災から一年三ヶ月が経ちました。振り返ったり総括できるような時期でも立場でもありませんが、備忘録的に当時の一部を振り返り、現在の心境の一端を書かせていただきます。

震災当日、多くの先生方同様、私も施術中でありました。数人の患者さんが来院していました。大きく長い揺れに全くもって何もすることができず、揺れのおさまりを待つて患者さんを外へ誘導し、早急に帰宅するよう促しました。町内の患者さんを自宅まで車で送り、町中の古い家屋や塀が倒壊しているのを目の当たりにしました。直ぐに携帯でTwitterを見たところ、やはり宮城県沖で来ると言われてた天災が遂に来たのだと確認しました。津波の情報も既にタイムライン上に流れていました。震災の数日前の震度五弱の際も津波の警戒がTwitterで流れましたが、数

十センチ程度の波であったこともあり、今回もさして大きな被害が出るとは思っていませんでした。

日が暮れる頃には携帯も不通になりライフラインの全てが完全に寸断されました。人生で初めての経験に不謹慎かもしれませんが、感じたこととの無い高揚感に見舞われました。その晩の夜空は一生忘れることができないほど、静寂の闇の中、煌煌と無数の星が美しく輝いていました。その美しい夜空の下で感じた表現できない高揚感二度と経験することできないであろう倒錯した感覚だと思えます。今思えば普通の心理状態ではなかったとは思いますが、当時は本気で全てが終わった、接骨院などこれから継続できるわけも無い、と本気で思いました。これからどうやって子供と嫁さんと生きていこうか・その思いは絶望や不安というより何故か時代の大きなシフトが訪れる期待感と高揚感に満ち溢れていました。とにかくまともな心理状態ではなかったと思います。

震災の次の日、避難中に肩関節を脱臼した二十代の男性が南三陸町か

ら泥だらけで来院しました。患者さんは興奮しながら携帯で撮影した津波の惨状の画像を見せてくださいました。がたいのいい青年の肩は一晚経つてることもあり簡単に動いてはくれませんでした。整備操作をしてる間も震度五ぐらいの余震が止みませんでした。あの非日常感は一生涯忘れられないと思います。何とか整備を完了し、志津川へ歌津の惨状を当事者から聞き、やはりとんでもないことが起きたのだと実感しました。

次の日地元中学校に南三陸の方が避難してることを知り、ベットの一台持ち込んでやれる範囲での施術にあたりました。四百名近くの被災者で完全にキャパオーバーの体育館は混沌とし、情報が錯綜する中、行政の担当の方は憔悴しきっていました。当院は歴史的に南三陸の患者さん、特に漁師さんに頻繁に来院いただいてました。多忙だった昭和五十年代。両親は殆ど育児など放棄し日々の施術に邁進していたため、私は来院する南三陸の患者さんや入室中の漁師さんとその子供さんによく遊んでもらい成長しました。ですの

で昔から南三陸の方々には大変なご恩を感じておりました。また、昭和五十四年に父が病床に伏せた際に治療の代行をしてくださったのが志津川の菅原先生とインターンで来ていただいたいた八木山の土田先生でした。両先生のご尽力、お力で今日、当院は途切れることなく私の代まで存続でき、今も感謝の気持ち絶えません。その菅原先生の施術所も被災されたことを避難所の方から聞き、先生のご無事を確認できたものの施術所はおろか、町そのものが完全に流されたことを聞き啞然とするしかありませんでした。最近になり、菅原先生が施術所を再開なさるといふ朗報を聞き、大変なご決断とご意志に敬服すると共に、恩人である菅原先生や南三陸の方々にもお返しできないない自分の非力さ不甲斐なさを痛感せざるを得ません。被災地の混乱を聞くにつけ、その思いは日々増すばかりです。

広報ワーキンググループ

柴田 道文

## …「國見鶏」…

私達のまわりには沢山の情報が溢れ、その気になれば、いつでも判断や行動に必要な状況、事情に関する知識を集める事ができます。また、それほど知的なイメージではありませんが、名前、名称、業種など受け取る側の知識や経験により伝わる情報。さらにそれを元にして作られる、イメージや連想する事など、基本的な事柄ですが、とても大事なものです。そこで今回は、私達の言葉(文字)について少し調べてみました。

まず名称などの「名」ですが、漢字の六書では会意文字です。六書とは、漢字の成り立ちと解釈について六つの原理、象形、指事、会意、形声、転注、仮借の六つを表し、会意は複数の字を意味で組み合わせ、新しい字を作る方法です。「名」は会意、「夕」と「口」を合わせて、夕やみの中で相手に名を告げる。なのるの意味で、ひいては名前の意となりました。ま

た「夕」は月、「口」は日の省略形で「明」あきらかの略字ともなっています。

「接」とは形声で、音を表す部分と意味を表す部分を、組み合わせ漢字をつくる方法です。てへんは手の省略形、手の動きと関わる文字です。また「手」は象形で、五本の指と手のひら、手くびの形を描いて物をつかむ「手」の意を表しています。「妾」はシヨウ、音符で漢字の字音を示す部分、とる意味をもつ「執」シユウの字にあてはめた文字です。「執」は会意で、「幸」は罪人の意、「丸」は手でつかむ意で合わせて罪人をとらえる意を表しています。

「整」は形声、「敕」と音符の「正」セイとからなります。「束」は象形、木の枝をひもでくくった形で、集めてひもで締めつける、たばねる意を表しています。また音符の「束」ソクは「直」チヨク、まっすぐの意をもちます。「攴」は会意形声、「攴」トク棒や木のむちを手を持った形で、棒でたたく、うつ意を表し省略形の「攴」となり、うつむち打つなど動

作を表す文字です。「敕」チヨクは、打ってまっすぐにただす意となり、これらから「いましめる」の意をもち、ととのえる意味をもちます。

「正」の字は「止」をもとにしてつくられており、足の状態や動作と関係する文字で「足」「疋」などの仲間です。「止」は象形で、足あとや足首の形を表しています。また「趾」の原字で、足をとめて動かない、とまるとどまるの意を表しています。そして「正」の字も象形で、足のつけねからひざがしら、ふくらはぎ、足あとを合わせた形を表し、膝から下のまっすぐに曲がらない部分の意から「ただし、ただす」の意となります。「整」の字は「敕」いましめると、「正」ととのえる意とからなり、注意してととのえならべる意を表しています。

「医」もとは「醫」形声で音符の「毘」エイ澄む意と「酉」からなり、薬として用いる澄んだ酒の意から「いやす」意となりました。「医」は会意、はこがまえは象形で、木の枝や竹などで編んだ「方形」、はこの

形を表し、「方」の原字です。はこ、容器、あるいは規則ただしい事物とかわる文字です。また同じ形のかくしがまえは指事。六書の指事は位置数量など、線や点を加えて抽象的な意味を示す方法で、「上下本末」などです。そしてかくしがまえは、上からふたや覆いをのせて下の物を隠すさまを示しています。「矢」は象形、上方に矢じり下方に羽を描いた形で、弓の「や」の意を表しています。「爰」はこづくりは会意、先端部が太い棒と右手をあわせて、ほこやつえほこなど武器を持ちほこで打つ意を表しています。また同じほこづくりでも「戈」は、握りのついた木の柄に金属の刃を取り付けた武器を表しています。医は隠すと矢を合

わせて、矢を入れる道具「うつほ」の意で、「醫」と「医」はもと別字ですが、省略形として「医」を用いる様になりました。

「醫」のほこづくりとうつほで、澄む意となることはよくわかりませんが、醫酒の表現で甘酒、梅酢の意味らしく、毘は醜い姿のことで酒を

薬とする意味と、毘は病気の時の声エィで、酒で治療を表す。また毘は矢を呪器として用いる儀礼を表し、酒を使うとする説や、醫がもともと医師を表し、醫が甘酒の意で醜や臆なども甘酒の意味をさす異体字だそうです。

「療」は形声、病氣と音符の「寮」リヨウ乱れたものをおさめる意とかなり、病氣や傷を治める治す意を表しています。またやまいだれは会意形声、「𦉳」ソウ「牀」の省略形で寝台を表し、人とを合わせて寝ている様を表しています。これまでも思いつくままに書き進めてきましたが、私達の仕事を表す文字の意味がなんとなく理解できたでしょうか。夕闇でも相手に解る、名乗る事で安心や信頼が伝わる。これら私達の文字に「類似」や「代替」「補完」などの文字は相応しくないと確信します。

広報ワーキンググループ

庄子 和良

# SVM活動状況

(平成24年3月1日～平成24年6月30日迄)

依頼団体名	日時	合計
特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・宮城	5/27	1
名取市中学校体育連盟	6/2	4
名取市中学校体育連盟	6/3	2
宮城県警察本部	6/7	1
仙台市中学校体育連盟柔道専門部	6/9～10	2
仙台市中学校体育連盟柔道専門部	6/11	1
特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・宮城	6/10	1
石巻地区中体連柔道専門部	6/10	3
特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・宮城	6/17	1
仙台市障害者スポーツ協会	6/17	1
葉山地域包括支援センター	6/20	3
仙台中央警察署協議会	6/20	1
仙台市障害者スポーツ協会	6/24	3
特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・宮城	6/24	2
村田町小中父母教師会連合会	6/24	2
宮城県柔道少年団	6/24	
気仙沼登米地区柔道スポーツ少年団協議会	6/30	

依頼団体名	日時	合計
塩竈剣道連盟	3/4	1
石巻市スポーツ少年団 石巻地区スポーツ少年団連絡協議会	3/4	1
宮城県柔道少年団	3/25	2
ピコせんサポーター	3/31	1
仙台市中学校体育連盟柔道専門部	4/14	2
石巻柔道協会	4/15	2
特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・宮城	4/15	1
塩竈市バレーボール協会	4/22	2
石巻柔道協会	5/3	2
仙台市障害者スポーツ協会	5/13	1
宮城県柔道連盟	5/13	1
たつがねMTB大会実行委員会	5/13	2
特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・宮城	5/13	1
石巻支部高体連柔道専門部	5/13	1
仙台市障害者スポーツ協会	5/20	1
宮城県柔道連盟	5/26	1
宮城県柔道連盟	5/27	1
仙台市障害者スポーツ協会	5/27	1

# 平成23年12月～平成24年6月 会務報告

3 月		2 月		24年 1 月		23年 12 月				
1	木	接骨医学会理事会in東京 公益法人制度相談会	1	水	1	祝日	1	木	開設者面接	
2	金	震災記録誌会議	2	木	2	月	2	金		
3	土	統合医療学会発表	3	金	介護事業企画室会議	3	火	3	土	H23地域別保険研修 若林
4	日	臨時理事会	4	土	日整介護委員会in日整	4	水	4	日	
5	月	月初送金 顧問秋葉議員の集い	5	日	顧問県議今野議員「県政報告会」	5	木	5	月	月初送金
6	火	申請書提出締切日 柔道大会特別講師との打合せ サイエンス取材	6	月	月初送金・申請書提出締切日	6	金	6	火	申請書提出締切日 新入会員保険勉強会
7	水	新入会員保険勉強会	7	火	新入会員保険勉強会 広報編集会議	7	土	7	水	
8	木	赤門鍼灸柔整専門学校卒業式 第8回介護事業企画室会議	8	水	第5回介護事業企画室会議 公認会計士公益申請相談	8	日	8	木	
9	金	ミニ学会関連打ち合わせ	9	木	日整学術部会in日整 保険部会	9	祝月	9	金	
10	土	仙台接骨医療専門学校卒業式	10	金	顧問土井議員新春の集い	10	火	10	土	H23地域別保険研修 泉区 「柔道整復学」構築研究委員会 東北柔道整復師連合会柔道部会
11	日	23年度通常総会	11	祝土		11	水	11	日	機能訓練指導員認定柔道整復師 フォローアップ講習会in赤門
12	月		12	日		12	木	12	月	日整学校説明会in赤門
13	火	保険部会	13	月		13	金	13	火	
14	水	仙台医健専門学校卒業式 新入会員面接	14	火	統合医療東北支部発表準備	14	土	14	水	
15	木		15	水	第6回介護事業企画室会議	15	日	15	木	広報誌発送
16	金	柔道整復療養費審査委員会	16	木	柔道整復療養費審査委員会	16	月	16	金	柔道整復療養費審査委員会
17	土	H23地域別保険研修 in石巻、気仙沼、本吉 健生卒業式 東北連合会 監査会	17	金	三役回・理事会 監査会・監査講評	17	火	17	土	
18	日		18	土	H23地域別保険研修 in仙南、名取、岩沼、亶理	18	水	18	日	
19	月		19	日	地域支援事業企画説明会 千葉県会長祝会豊嶋会長参列	19	木	19	月	
20	祝火	日整保険部介護対策班in日整	20	月	公認会計士との予算書打合せ	20	金	20	火	
21	水		21	火		21	土	21	水	三役会・理事会・評議員会
22	木	第9回介護事業企画室会議	22	水	地域支援事業説明訪問in市役所	22	日	22	木	
23	金	日整理事会・接骨医学会理事会 ミニ学会打合せ	23	木	顧問県議とのべ協会	23	月	23	祝金	
24	土	H23地域別保険研修in栗原、登米	24	金	日整理事会in日整 第7回介護事業企画室会議	24	火	24	土	
25	日	日整学術部会・日整臨時総会 日整連盟執行委員会	25	土	H23地域別保険研修in太白区	25	水	25	日	
26	月		26	日	日本柔道整復接骨医学会 愛知大会	26	木	26	月	保険部会
27	火	保健部会	27	月	保険部会	27	金	27	火	
28	水	新入会員面接5名	28	火	事業部会・構築学会理事会 日整保険部会in日整	28	土	28	水	連絡袋発送
29	木	東北厚生局個別指導立会い	29	水	東北厚生局個別指導立会い 月末送金日・連絡袋発送日	29	日	29	木	月末送金日・仕事納め
30	金	月末送金日・連絡袋発送日				30	月	30	金	事務局年末休暇↓
31	土	柔道整復学構築研究委員会				31	火	31	土	

--	--

6 月			5 月			4 月		
1	金		1	火	「柔道整復学」構築学会理事会	1	日	
2	土		2	水		2	月	ミニ学会関連会議
3	日	接骨医学会発表 申請書手書き会員提出締切日	3	木		3	火	震災関連冊子会議
4	月	ミニ学会打合せ	4	金		4	水	日整学術部会in日整 柔整国際シンポ 宮整ゴルフ会議
5	火		5	土		5	木	月初送金日
6	水	申請書レセコン会員提出締切日 DVD作成会議	6	日	申請書提出締切日手書き・レセコン 新入会員保険勉強会	6	金	申請書提出締切日 赤門入学式
7	木	新入会員保険勉強会 第16回介護事業企画室会議	7	月	月初送金日	7	土	東北ブロック会第1回理事会 新入会員保険勉強会
8	金		8	火	第13回介護事業企画室会議	8	日	健生入学式
9	土	東北ブロック会学術勉強会 第4回介護事業研修会in赤門	9	水	新入会員面接1名	9	月	
10	日	第60回宮整ゴルフ愛好会コンペ ミニ学会会場打ち合わせin茂庭荘	10	木	臨時三役会・臨時理事会	10	火	
11	月		11	金	通所型介護予防事業実施施設募集説明会	11	水	日整学術部会in日整 新入会員面接4名 第10回介護事業企画室会議
12	火		12	土	介護事業研修会第3回in赤門国分町	12	木	東北柔専入学式
13	水	新入会員面接1名 ミニ学会発表者打合せ会 東北ブロック会柔道大会打ち合わせ	13	日		13	金	
14	木	保険部会 震災記録誌会議	14	月	総会打合せ	14	土	介護事業研修会第2回in赤門国分町
15	金	柔道整復療養費審査委員会	15	火	事業部会	15	日	
16	土	ミニ学会in茂庭荘	16	水	柔道整復療養費審査委員会	16	月	柔道整復療養費審査委員会
17	日	ミニ学会in茂庭荘	17	木		17	火	仙台医健入学式 震災関連冊子会議
18	月	東北厚生局指導委員会 第15回政経セミナー参加	18	金	第14回介護事業企画室会議	18	水	事業部会・第11回介護事業企画室会議
19	火		19	土		19	木	H24第1回理事会・第1回監査会
20	水	公社日整理事会	20	日	平成24年度通常総会 地域支援事業関連会議	20	金	
21	木	公社日整保険部会	21	月	卒後臨床の会場確認in仙台医健 震災記録誌の編集会議	21	土	平成24年度少年柔道大会前日準備
22	金	接骨医学会理事会	22	火		22	日	平成24年度少年柔道大会
23	土		23	水		23	月	ミニ学会講師打合せ
24	日	公社日整通常総会	24	木	ミニ学会業者との打合せ	24	火	接骨医学会理事会 保険部会
25	月	通所型予防事業実施業者選定面接	25	金		25	水	日整理事会 新入会員面接1名 保険部会
26	火	卒後臨床研修会会議in東京	26	土	構築研究委員会	26	木	
27	水	保険部会	27	日	東京橋本先生教授・名誉博士号受賞祝賀会	27	金	月末送金日・連絡袋発送
28	木		28	月	接骨医学会打合せ 第15回介護事業企画室会議	28	土	構築研究委員会
29	金	第17回会議事業企画室会議 月末送金日・連絡袋発送	29	火	保険部会	29	日	
30	土		30	水		30	月	
			31	木	月末送金日・連絡袋発送 ミニ学会打合せ 震災記録誌の編集会議			

## 宮城県「柔道整復学」構築学会 賛助会員

株式会社 エス・エス・ビー

株式会社 カナケン

株式会社 グローバー

日本プロジェクト 株式会社

燦ケアサービス 株式会社

株式会社 パールシャープ仙台

マクターエンジニアリング 株式会社

株式会社 エフ・アイ・エル

ダイヤ工業 株式会社

朝日電子東北販売 株式会社

宮城県「柔道整復学」構築学会の活動をご理解頂き、学会を支えて頂く賛助会員各社でございます。

宮城県「柔道整復学」構築学会は、会員の皆様が、レセプトシステム・超音波診断装置・医療機器・衛生材料・医薬品のご用命の際には、宮城県「柔道整復学」構築学会として、賛助会員各社を会員の皆様に推奨致します。

## 宮城県「柔道整復学」構築学会推奨

レセコン・超音波観察装置のご用命は、安心と信頼のブランド、SSBへ  
**柔整業界トップのシェアと知名度を誇る実績、**  
**全国に9,000件のユーザーを持つ商品力と信頼!**

柔道整復師向け事務管理システム

# 三四郎くんX3

Windows XP/Vista<sup>2bit</sup>/7<sup>32bit</sup>対応



面倒な保険請求業務も、三四郎ならラクラク簡単!

オプションで三四郎くんがさら便利に!

### 保険証OCR

専用スキャナーで保険証の読み取りが可能です。

### THE・青色申告

三四郎くんのデータが移動可能な青色申告ソフトです。



## オステオトロンIV

超音波骨折治療器

先進医療適用の  
超音波骨折治療器(LIPUS)！  
ACアダプターからの起動で  
利便性がさらにアップ!

**先進医療適用!**

## 超音波観察装置ラインナップ

### 日立メディコ MyLab Five

プレミアムクラスに迫る描出力!  
 複数の高周波リニアプロニブも選択可能な  
 運動器観察に場所を選ばない  
 MyLabシリーズの最新機種!



バッテリー搭載で  
往診に最適!

**新登場!!**

※バッテリー駆動時間については、  
営業にお問い合わせ下さい。



MEDISON  
SONOACE PICO

コンパクトボディに  
クラウドクラウド搭載



本多電子  
HS-2100

本多電子初の  
デジタル機、新登場!



MEDISON  
SONOACE X6

新開発12MHzロープを採用!

15インチカラー液晶  
モニター搭載!

※その他、様々な機種を取り揃えております。

**SSB** 株式会社 エス・エス・ビー

仙台営業所 〒984-0015宮城県仙台市若林区卸町5-2-10卸町喜喜ビル301号

Tel. 022-236-7211 Fax.022-236-7212

本社:つくば 営業所:東京、札幌、長野、北陸、名古屋、関西、中国四国、福岡、鹿児島

弊社ホームページで各機種のサンプル画像を  
動画で配信中です。是非一度ご覧下さい。

業界最新情報はこちらから!

<http://www.sanshiro-net.co.jp/>

パルス (低周波治療器)

# Lasper-A

ラスパーエース Version-2

進化する波  
ラスパーウェーブ

それは、ソフトな当たりでしっかりした刺激を確実に伝える理想の波形です。



### 設定周波数

微妙な治療の周波数帯を完全カバーした24段階オートリリーススイッチ (電子音表示)

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
周波数	0.1	0.3	0.5	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5
No	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
周波数	2	2.5	3	5	7	10	15	20	30	50	75	100

\*頻繁に使用する周波数を記憶しています。\*0.1Hzでピーク音ビビ(警告音)を設定しました。

### 最大出力電圧をアップ

経皮電極用(高)モードは最大42Vp-pから48Vp-pにパワーをアップ。経皮通電の物足りなさを幾分解消させました。

### ラスパーウェーブ

### チャンネル間の干渉がない。

### 治療時間を液晶で表示。

### 電子音で操作を確認。

### 携帯に便利な軽量設計。

### ラスパーエース バージョン2

KE-115 **47,250円** (本体価格 45,000円)

(クラスII/特管) 認証番号219ALBZX00005000

#### 仕様

- 出力チャンネル数 4チャンネル
- 定格電圧 DC7.5V (単2形乾電池×5本)
- 最大出力電圧 48Vp-p
- 最大出力電流 3.4mA (500Ω負荷時)
- 出力周波数 連続モード 0.1Hz~100Hz  
間欠モード 3.0Hz~100Hz
- ミックスモード 3&10Hz、3&15Hz、3&30Hz、3&50Hz
- 治療タイム 5、10、15、20、25、30分
- 安全装置 ゼロスタート方式、出力レベルインターロック
- 寸法 電源ヒューズ 3.15A  
H88×W235×D165±5mm
- 重量 570g (電池除く)

#### 本体及び付属品

- 1. 本体.....1台
- 2. 新通電コード4色組 1組
- 3. 粘着導子 (TRS-2822) 1袋6コ入.....2袋
- 4. 単2形乾電池.....5本
- 5. 取扱説明書.....1冊
- 6. 添付文書.....1枚
- 7. 保証書.....1部
- 8. 保証登録票.....1部



粘着導子 (TRS-2822) 1袋6コ入	KE-116A	945円	(本体価格 900円)
新通電コード4色組	KE-116D	6,300円	(本体価格 6,000円)
新通電コード1本	KE-116E	1,680円	(本体価格 1,600円)

細胞に働きかける

# Bio Kanax

マイクロカレント  
微弱電流

バイオカナックス

バイオカナックスは、人間が本来持っている自己回復能力を助けることで、静止細胞を活性化し、筋肉を調整、回復、改善させます。

### バイオカナックス

KE-525 **892,500円**

(本体価格 850,000円)

### プロの要求に応えるプログラム機能搭載

バイオカナックスは生理学的な最新情報にもとづいて、複数の大学医学部を始め、数多くの専門医の研究と協力によって開発された、小型マイクロアンペア治療器です。治療に最適なプログラムと、正確なマイクロアンペアがインプットされており、完璧にコンピュータで制御されています。そのため治療効果が出やすく、効果も長時間持続します。



#### 仕様

- 仕様
- 定格電圧: DC9V 単一型電池 (1.5V) × 6
- 消費電流: 40mA、出力電流: 28μA~500μA
- 出力電圧: 14mV (500Ω負荷) MAX=35V
- 出力周波数: 0.1Hz~500Hz、出力系統: 2チャンネル
- 外形寸法: H132×W320×D250mm
- 本体重量: 2.3kg
- (クラスII/特管) 医療用具承認番号21200BZZ00333000

#### ●独自の4極干渉通電方式

- 痛みを、筋肉系・神経系に分けて治療します。
- 部位を選べば、プログラム治療ができます。
- ワンタッチ選択方式採用により、治療モードは簡単に選べます。
- ディスプレイで、治療状況を把握することができます。

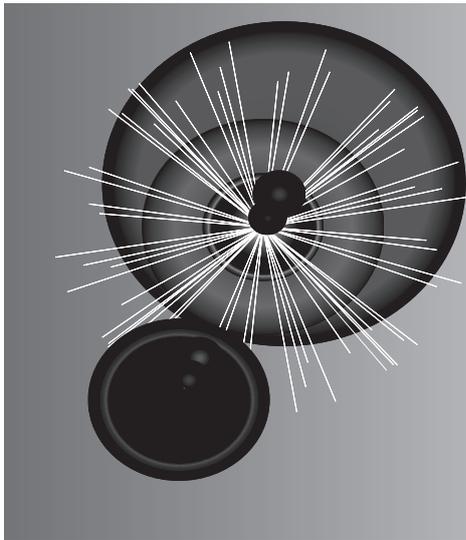
総発売元 **株式会社 カナケン**  
 本社: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39  
 TEL\_045-901-5471代 FAX\_045-902-9262  
 http://www.e-kenkou.jp/ E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所: TEL\_06-6935-3016代 FAX\_06-6935-3017  
 新潟営業所: TEL\_025-286-0521代 FAX\_025-286-8870  
 福島営業所: TEL\_024-961-7211代 FAX\_024-961-7221  
 仙台出張所: TEL\_022-287-6273代 FAX\_022-287-6218  
 千葉出張所: TEL\_043-286-6466代 FAX\_043-286-6366

高電子水が身体をケア

BODY ボディ ライト クリーム  
LIGHT  
CREAM

硬くなった筋肉を素早くやわらげる



治療後のケア  
肉体疲労の回復  
筋肉疲労の回復  
筋運動の向上  
怪我の予防  
肩こり・腰痛



ボディ ライト クリーム 50g

水、グリセリンホバ種子油、BG、ステアリン酸、ステアロイルグルタミン酸Na  
ペイタン、ミツロウ、ミスチン酸、香料、メチルパラベン、(アクリル酸/アクリル  
酸アルキル(C-10-30))コポリマー、グリチルリチン酸2K、キサンタンガム、  
プロピルパラベン、酢酸トコフェロール、水酸化K、ヒアルロン酸Na

定価¥3,600(税別)



GROWBER  
株式会社グローバー

〒981-8003  
仙台市泉区南光台5丁目12-26  
TEL022-728-9187  
FAX022-728-9188  
フリーダイヤル0120-05-9187

開業・機械入替の予算で  
お困りの方は、ご連絡下さい！



総合医療商社

 **日本プロジェクト株式会社**

本 社

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-11-15  
TEL 027-253-5818 FAX 027-253-5817

仙台営業所

〒984-0838 宮城県仙台市若林区上飯田2-4-6  
TEL 022-282-0944 FAX 022-282-0972

# 介護は、サンケアサービスにご相談ください！

## ケアプラン

介護に対する相談・サービスへの支援・ケアプラン作成など  
介護支援専門員(ケアマネジャー)がお手伝いいたします。

「介護」に悩んでいませんか？

一人で悩まずお気軽に  
ご相談ください。



- もっと元気になるために定期的にリハビリをしたい!!
- 自宅でお風呂に入りたいのでヘルパーさんに手伝ってほしい!!
- ベッド・車いすなどの福祉用品をレンタルしたい!!

相談は無料です

居宅介護支援事業所 **サンケアプランセンター**

フリーコール **0120-975-539**

## ヘルパーサービス

「まごころを大切に」人にやさしいサービスをお届けします。

訪問介護はサンケアサービスにお任せください  
(介護保険外サービスも承ります)

生活支援



身体介護



訪問介護事業所 **サンケアサービス**

フリーコール **0120-294-392**

グループホーム・デイサービス・ショートステイ

グループホーム



- 拘束のない家庭的な暮らしをしながら、自分の持てる力を発揮できるようにスタッフが援助いたします。

デイサービス

- おいしい食事・お風呂・笑顔の絶えないレクリエーションなど皆で楽しく過ごしております。

ショートステイ

- 一時的な旅行やご家庭の事情で、介護にお困りの場合にはご相談ください。



小規模多機能型高齢者施設 **サンすまいるしかま**

**0229-66-1250**

平成22年9月1日新施設オープン！！

黒川郡大衡村に  
新施設「サンすまいるおおひら」が  
開設いたしました。

グループホーム・デイサービス・ショートステイ **サンすまいるおおひら**

グループホーム **022-739-7543**

デイ・ショート **022-739-7541**

サンケアサービス株式会社

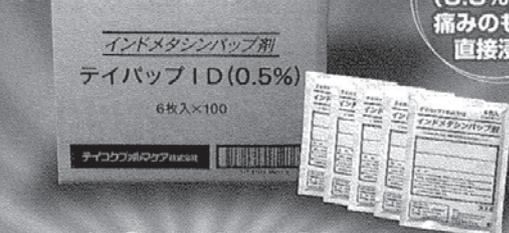
〒981-0912 仙台市青葉区堤町1丁目7-30 ザ・キャッスル北仙台1階  
TEL022-342-1501 FAX022-272-0821 <http://www.suncare-s.jp>

外用非ステロイド性消炎鎮痛剤

# インドメタシン含有製剤 ラインアップ

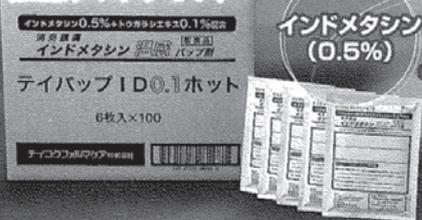
打撲や肩こりなどが起こると、体内にプロスタグランジン類という「炎症反応増強物質」が発生し、痛みを何倍にも増幅します。インドメタシンの仕事は、プロスタグランジンなどの「炎症反応増強物質」の発生を抑え痛みを緩和します。

## ティパップID(0.5%) (冷感シップタイプ)



有効成分  
インドメタシン  
(0.5%)配合  
痛みのもとに  
直接浸透

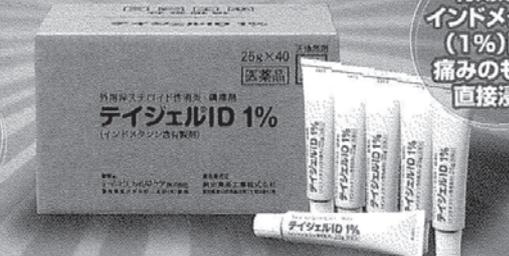
## ティパップID0.1ホット (温感シップタイプ)



インドメタシン  
(0.5%)

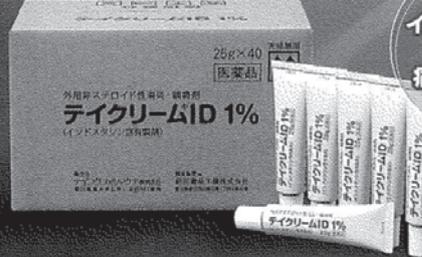
+ トウガラシ  
エキス  
(0.1%)

## ティジェルID1%



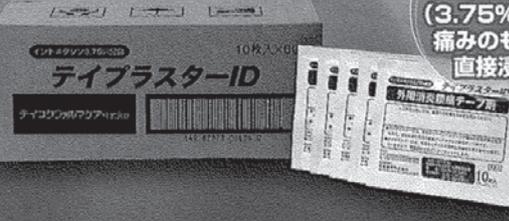
有効成分  
インドメタシン  
(1%)配合  
痛みのもとに  
直接浸透

## ティクリームID1%



有効成分  
インドメタシン  
(1%)配合  
痛みのもとに  
直接浸透

## ティプラスターID (プラスタータイプ)



有効成分  
インドメタシン  
(3.75%)配合  
痛みのもとに  
直接浸透

インドメタシン含有製剤は「第2類医薬品」に分類されます。

### インドメタシンの使い分け

- 急性期の炎症が強い患者さん向け
  - ①ティパップID(水分の含有が多く、冷却効果が強い)
  - ②ティジェルID1%(エタノール含有で、清涼感が強い)
- 慢性化した炎症の患者さん向け
  - ①ティパップID0.1ホット  
(トウガラシエキス含有で血行を良くする)
  - ②ティクリームID1%(伸びの良い基材使用)

〈お問い合わせ先〉

株式会社 パールシャープ仙台

〒983-0838

仙台市宮城野区二の森12番52号

電話番号 022-291-2366

PHARMACARE®  
パールシャープ

帝國製薬グループ  
テイコクファルマケア株式会社  
香川県東かがわ市三本松567番地

www.teikoku-pc.co.jp

## 治療室（リハビリ）が変わります・・・ 実感できる高周波治療器の治療効果！！

治療後に患者さんの笑顔と感謝の言葉があります！

### ＜深部に浸透する消炎鎮痛効果＞

深部まで到達する高周波（3万Hz～1万Hz）を利用して  
おります。痛みを早期に解消：腰痛、膝痛、むち打ち  
症、ぎっくり腰、坐骨神経痛

### ＜心地よいリラクゼーションで＞

筋の緊張緩和：肩こり、高血圧、四十肩・五十肩  
眼精疲労、不眠症、頸肩腕症候群

### ＜スポーツ後遺症の治療に＞

捻挫、打撲、肉離れ、筋・靭帯損傷、筋肉疲労

### ＜メタボリック治療に＞

楽な運動（EMS刺激）で脂肪の燃焼を支援！  
末梢循環改善で美容（皮膚）と痩身を支援！

### デモ受付中

安心・安全なインストラクション（指導）付き  
デモンストレーションを実施中です。

干渉電流型治療器 ハイパーモールサミットエクサ



カラー液晶タッチパネル採用  
「高周波干渉型治療装置」誕生！



マクターエンジニアリング株式会社

TEL 0276-40-2480 FAX 0276-40-2481

URL <http://www.mdec.co.jp>

E-mail [info@mdec.co.jp](mailto:info@mdec.co.jp)

貴院の担当営業所 **マクターエンジニアリング仙台営業所**

〒981-0136宮城県宮城郡利府町皆の丘10-1

TEL 022-767-6680 FAX 022-767-6681



高い治療満足度と超音波やレーザーに匹敵する治療効果を兼備！

# 酸素で治療が変わる！ 手技の効果を最大限に！

なぜ治療に酸素？

筋肉や靭帯の損傷・骨折などは 炎症期・修復期・再生期を経て自然に治癒していきます。

我々は 酸素が大量に必要な炎症期・修復期に十分な酸素を患部に送り込むことで怪我の治りが早くなると考えます。

血中酸素量の増加によってもたらされる効果

怪我や炎症の修復期間短縮

疲労物質の乳酸を分解

「**損傷した細胞組織の酸素不足**」を解消!!  
多量の酸素供給による細胞の活性化が手技の効果を高める!!

さらに手技の効果を高める「**高気圧酸素機器**」

**高気圧 + 濃縮酸素**  
(最大1.3気圧) (最大酸素濃度50%)



● O2 shuttle 1人用  
(Air Technologies)



● 高気圧キャビン 多人数用  
2100-1.3ATA (SHENPIX)

ヘンリーの法則<sup>(※1)</sup>を応用した高気圧酸素機器は体内に溶解型酸素<sup>(※2)</sup>を増やし、怪我の修復期間を短縮します。

※1 ヘンリーの法則……一定温度で一定量の液体に溶ける気体の質量は、圧力に比例するという法則。

※2 溶解型酸素……ヘモグロビンと結合していない酸素。血液や体液に直接溶け込むため毛細血管を通りやすい。

酸素濃縮器  
**AJ-300**



価格：399,000円（税込）

酸素濃縮器から高気圧酸素機器まで  
株式会社 エフ・アイ・エル

仙台OFFICE

〒980-0014 仙台市青葉区本町2-1-24-4  
(TEL)022-265-5706 (FAX)022-265-5707

東京OFFICE

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-7-26-708  
(TEL)03-5338-6686 (FAX)03-5338-6687

高度管理医療機器等販売業  
許可番号 第M 10963号

<http://www.fil.co.jp>

より良い医療環境を支援する

# ダイヤ工業の直販システム

## 1 専門性に優れた3,300種以上の豊富な商品！

ダイヤ工業オススメ商品

**腰** プロハード



**膝** ウォークアップニー



**足首** アンクルガーメント



**首** ソフト頸椎カラー



**肘** ハイパフォーマンス  
プレミアムエルボー



**肩** E-potision:KATA



**大腿** GT サイクロス



**手首** ハイパフォーマンス  
リスト



他にも多種・多彩な商品を取り扱っています。詳しくはダイヤメディカルカタログをご覧ください。

## 2 ご注文は24時間・365日いつでも受付OK！

電話・FAX・インターネット・メールからいつでもご注文いただけます。

月曜～金曜  
9:00～18:00は  
コミュニケーターが  
直接承ります。



## 3 翌日発送OKのスピーディーな配送！

10,500円(税込)以上ご購入で全国どこでも送料無料でお届けします。(※一部例外がございます)

## 4 大変お得なポイント制を導入！

500ポイント単位で割引金額としてご利用できます。(500ポイントで500円割引利用が可能となります)

ダイヤ工業オリジナル商品 ▶ 100円ごとに2ポイント

## 5 お支払い方法は多数ご用意！

代金引換



コンビニ  
&  
郵便振込



銀行口座振込



クレジット



さらに インターネットからのご注文なら  
**全商品2%割引!!**

インターネットからのご注文はあらかじめご登録  
(無料)が必要となります

ご登録がまだの方はコチラ



<http://www.daiyak.co.jp>

## 2010年度版ダイヤ メディカルカタログ

お手元にない方は  
下記までご請求く  
ださい。無料で発  
送させていただきます



先生用：A4 / カラー / 全210頁  
患者用：A4 / カラー / 全138頁

ご注文  
お問い合わせ  
はこちら

ダイヤ工業株式会社

〒701-0203 岡山市南区古新田1117-1  
<http://www.daiyak.co.jp> E-mail: info@daiyak.co.jp



0120-01-1245

フリーダイヤル  
■お電話でのお申し込みは24時間受付 / 月～金曜  
9:00～18:00はオペレーターが承ります



0120-02-1246

フリーファックス  
■FAXでのお申し込みは24時間受付(年中無休)  
※お電話のおかけ間違いには充分にご注意ください

# 新型腰痛治療専用マシン

## LSWINGTRAC

### 腰部牽引スイング

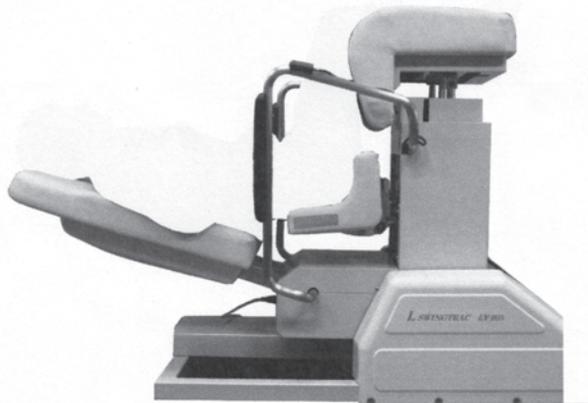
#### LY905 動作パターン

- ・静止モード 90° ~ 90°
- ・スイングモード
- ・アップダウンモード
- ・ジャイロモード

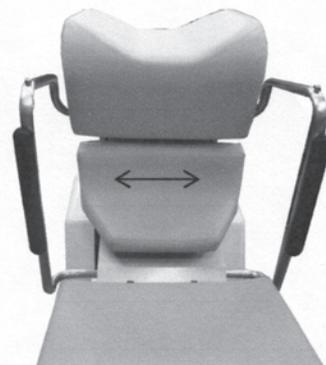
#### 90° / 90° 牽引は

腰椎前弯の消失、椎間孔の拡張、椎間板の内圧を減少。

椎間側屈や、骨盤側方傾斜、脊柱起立筋の緊張緩和、大腰筋緊張緩和、骨盤のゆがみの補正等の改善



90° / 90° 姿勢で十分な腰椎前弯を矯正でき、さらに臀部を上げることによって腰椎後背部の牽引をすることができます。



スイングすることによって脊柱起立筋など脊柱、腸骨周辺部の筋群の緊張を解き、脊柱両側の筋群のバランスを取ることができます。

朝日電子東北販売株式会社

宮城県仙台市土樋98番地

TEL 022-227-7632 FAX 022-267-6225

# 宮城県「柔道整復学」構築学会 投稿・発表規定

2008年(平成20年)11月8日制定

## 1. 投稿・発表について

本学会への投稿及び発表は、原則として宮城県「柔道整復学」構築学会の会員に限るが、特に本会に寄与する論文と判断され、本会の会員が1名以上の共著者となっていれば会員外の投稿及び発表も受理します。

以下の6つのポイント(約束事、常識)をふまえて、しかも積極的に、気軽にどうぞ公にしてください。

1997年(平成9年)、第6回日本柔道整復接骨医学会総会時の、金城 孝治会長の講演にありました言葉、「職域拡大には・・・医療知識と技術の向上によってのみ可能である」は、今こそむしろ大切かと思えます。

## 2. ケースレポートの仕方

- ① ケースレポートをする意義は：
  - i) 非常にめずらしい(レアrare)疾患の場合
  - ii) めずらしい疾患ではないが、特異な経過・転帰をたどったケース
  - iii) 治療・施術への反応が独特であったケース
  - iv) 新治療法・技術の開発・試行・実験治療を行ってみた場合の効果
  - v) 非常に、取り扱いや施術・治療・リハビリに苦慮したケース
- ② どの誰であるかが推定できそうな表現は絶対不可(個人情報保護)です。  
症例1、症例2などとします。
- ③ この場合も、症例のデータ(写真など)について、自分(達)のものでない場合には、借用先を明記して下さい。

## 3. データのまとめ方

- ① X線、MRI、その他全てのデータについて、自分(達)が採取したものでない場合には、借用先を明記して下さい。(著作権の問題)
- ② データの計数が1ケタ(5例、8例など)の場合に、安易に平均値(代表値の1つ)を出しますと片寄った値になることがあります。その場合には中央値の方が妥当です。
- ③ 各症例について、誰であるか見当がつきそうな表現はなさないように(個人情報保護)して下さい。  
表記は、例えば症例1、症例YZなど。

## 4. 発表要旨(抄録)の書き方

- ① 5W1H (whenいつ、whereどこで、who誰が、what何を、whyどんな目的で、howどのように)が分かるように書いて下さい。
- ② <目的><方法><結果><考察><結論>の順に、要領よく短くまとめます。<結果>には、得られた事実のみを書きます。
- ③ 文章は全て「～であった」「～となった」の、である調、過去形となります。

- ④ 発表者としての主語を入れる必要がある場合には、「われわれは～」「演者らは～」などと書きます。
- ⑤ 原稿は、パソコンのワープロソフトなどで作成し、A4版用紙に横書きとします。手書原稿は採用しません。

## 5. 執筆要綱

### 投稿論文の種類と内容説明

- 原著論文 : 新規かつオリジナルであることが構築研究委員会において認められたものです。  
内容が新しい情報、理論の提示を通して独創性を主張できるものです。  
明確な研究結果として一定の結論が得られたものです。
- 症例報告 : 症例の臨床経験に基づいた研究をおこなって考察が得られたものです。
- 研究資料 : 柔道整復、あるいはそれに関連した資料を主とした情報を提示したものです。
- 短 報 : 内容は原著に近いが短く結論の速報として書いたものです。
- 治療技術 : 客観的情報を示し、オリジナル性の高いものです。
- そ の 他 : 柔道整復に関する多方面からの記事を含み、会員の質的向上に貢献できるものです。

## 6. 論文の構成

- 表 題 : 内容を具体的に表し、かつ簡潔な表現とします。  
用語には、キーワードを含むように工夫して下さい。
- 著 者 名 : 著者は本研究に寄与するところの大きい人のみとします。  
研究の協力者は謝辞の中で記載して下さい。
- 要 旨 : 目的、方法、結果、結論を簡潔に記載して下さい。
- キーワード : 主に主題および要旨から選び、論文の内容を最も適切に表す言葉とします。
- 本 文 : 1) はじめに(序文、まえがき、緒言)  
本研究の背景、経緯、意義などを述べる導入部分。  
これまでの研究との関連性を記載します。
- 2) 対象および方法  
用いた理論、条件、材料、方法、手順などを記載します。  
特に、方法は関連研究者が追試できる内容とします。
- 3) 結果  
実験結果、データ紹介、明らかとなった関連性、観察結果、効果などを記載します。
- 4) 考察  
結果の分析と検討、結果の比較と評価、問題提起、今後の課題、示唆などを記載します。
- 5) 結論(まとめ、結語)  
本研究の結果内容を簡潔に記載します。
- 図・写真・表 : 本文に示した順に掲載し、その図表の番号や説明は図では下に、表では上につけて下さい。
- そ の 他 : 原稿には一連のページ数を記載して下さい。

## 7. 発表の仕方

- ① パワーポイント、スライドなど、視聴覚メディアをうまくお使い下さい。
- ② 発表時間の厳守  
例) 8分間→400字詰原稿用紙8～9枚  
10分間→400字詰原稿用紙10～11枚です。
- ③ 慣れていない方は、必ず発表用の下書き原稿を②に合わせて書くことをお勧めします。ルーズに進めると、必ず結論へ行かない前に終わってしまいます。
- ④ ここでも5W1Hを要領よく入れて下さい。

## 8. 提出

発表原稿、発表時使用データの提出は、所定の期日までに刷り上り（プリント）1部に、原稿のファイルを書き込んだ電子媒体（フロッピーディスク、CD-R、USBなど）を添えて、事務局宛に送付して下さい。又は、E-mailで事務局宛にファイルを直送して頂いても構いません。但し、使用ソフトやファイル形式については、事前に受理可能かどうか事務局に確認して下さい。投稿原稿、発表時使用データ及び記録媒体は返却しません。

## 9. 校正

校正は著者が責任を持って行い、校正後の原稿、データを投稿して下さい。

## 10. 送付先

「学会誌原稿、発表データ」と朱書して、下記に送付下さい。

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号  
社団法人宮城県柔道整復師会 内  
宮城県「柔道整復学」構築研究委員会 事務局  
TEL：022-262-9181 FAX：022-262-4181  
E-mail：mjs@mjs.or.jp

## 編／集／後／記

以前、当会公認の私的研究会に出席し気付いたことがありました。その研究会は開業を間近に控えているか、開業まもない若い先生方で会場が埋め尽くされており（その後手狭になりやむなく近くの公民館で行われることになった）、皆とても熱心に勉強していました。おそらく、我々のおかれています状況に対する危機感の表れなのです。

近年、我々柔道整復師を取り巻く環境はますます厳しくなり、受領委任制度の存続自体を危ぶむ声さえ聞かれます。このような厳しい現状を真摯に受け止め、当会では柔道整復施術療養費制度を正しくご理解頂くために、新入会員保険研修会を毎月必ず実施、また東北厚生局 医療指導監視監査官を講師に迎え、年一回の保険全体研修会開催、保険部による県内十一カ所で開催する地域別保険研修会、そして毎月月末に発行す

る保険部連絡等により、柔道整復師の施術に係る療養費の取扱いについての周知、柔道整復療養費の受領委任の取扱いに係る規程の周知等を会員に行っております。会務ではそれらと並行して健康保険組合連合会宮城連合会様、JA共済連宮城様、損害保険料率算出機構様、その他関係各位との情報交換会、連絡会議等を通じ、相互の立場から、柔道整復療養費制度に対する理解を深める試みがなされています。

今年度の公益事業も、二日間にもわたり開催された第二回ミニ学会、救急救命講習会ともに大変好評を博しました。柔道整復師（機能訓練指導員資格も保有）による生活機能向上事業も着実に推進しております。

公益社団法人の取得ももう一歩のところまでできています。

若い先生方の活力を取り入れ、地域社会にさらに貢献することを確信し編集後記と致します。

宮整広報 編集部

社団法人 宮城県柔道整復師会

# 宮 整 広 報 No.91

平成24年8月10日

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉二丁目9番8号

TEL 022(262)9181 FAX 022(262)4181

Home Page <http://www.mjs.or.jp>

発行者 会長 豊嶋良一  
編集 広報部担当理事 芦澤卓也  
広報部員 主任 佐藤敬一 委員 千葉勝弘 平山 修  
広報Working Group 主任 庄子和良 委員 柴田道文

印刷所 (資) 芳賀美術印刷  
〒980-0003  
宮城県仙台市青葉区小田原七丁目7番13号  
TEL 022(222)4225(代)  
FAX 022(222)4228

## 2012年学会主催研修会（宮城会場）のご案内

2012年学会主催研修会を下記の要領で開催いたします。  
新制度になり認定柔道整復師が取得し易くなりました。お誘い合わせの上ご参加下さい。

日 時	平成24年9月2日 日曜日	会場・受付	午前9時30分～
会 場	フォレスト仙台（財団法人 宮城県教育会館） 〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45 TEL 022-271-9340		
定 員	200名		
参加費	学会員 認定柔道整復師	3,000円	（事前申し込みのみ）
	学会員	6,000円	
	一 般	8,000円	
	学 生	2,000円	（学校一括にて申し込み）

申込締め切り 平成24年8月20日（月）  
申込方法 学会誌経由又は郵便局備付の払込用紙にて事前申込みとなります  
ゆうちょ銀行 00180-6-655962  
口座名義：日本柔道整復接骨医学会  
通 信 欄：学会主催研修会受講料（宮城会場）

タイムスケジュール		演 題	講 師
10:20～10:30	開 講 式		日本柔道整復接骨医学会 会長代行 米田 忠正 認定柔道整復師制度委員会 委員長 宮永 豊 社団法人 宮城県柔道整復師会 会 長 豊嶋 良一
10:30～11:30	委員長講演	スポーツ医学のエビデンスはどこまで明らかになったか？	筑波大学 名誉教授 宮永 豊
11:30～12:30	教養講座	栄養と運動	仙台大学 体育学部 健康栄養学科 教 授 藤井 久雄
12:30～13:00	休 憩		
13:00～14:00	特別講演	中高齢者の膝関節疾患の治療 ～超高齢化社会における我々の役割～	医療法人社団杏泉堂 本間記念仙台北整形外科 院 長 杉田 健彦
14:00～15:00	特別講演	腱板断裂の病態と治療	東北大学大学院医学系研究科整形外科学分野 教 授 井樋 栄二
15:00～15:10	閉 講 式	修了証授与	会長代行 米田 忠正 担当理事 石原 誠 豊嶋 良一



※研修会修了者には修了証を授与いたします。  
※学生には「学会主催研修会受講証明書」を授与いたします。

【お問い合わせ】  
日本柔道整復接骨医学会  
認定柔道整復師制度委員会  
〒110-0014  
東京都台東区北上野1-8-5  
ビルーフ上野 6階  
TEL 03-5830-3025 FAX 03-5830-3026